

2011.3 VOL.34

FFG 福岡金融グループ
MONTHLY SURVEY

FFG 調査月報

■ 寄稿

新博多駅開業と九州新幹線全面開業

～福岡市をめぐる小売集積の変遷と消費者の変化を踏まえての展望～

調査 月報

2011. 3. MAR

VOL. 34

CONTENTS[目次]

- [01] トップに聞く
有吉 崇 氏(一番食品株式会社 代表取締役社長)
三浦 政景 氏(マルソー産業株式会社 代表取締役)
西川 正明 氏(株式会社再春館製薬所 代表取締役社長)
藤山 昭一 氏(株式会社鷹取製作所 代表取締役会長)
-
- [10] 寄稿
新博多駅開業と九州新幹線全面開業
～福岡市をめぐる小売集積の変遷と
消費者の変化を踏まえての展望～
-
- [16] FFG ニュース
新生活 START! キャンペーン
-
- [18] 海外トピックス
大連の日本食事情
-
- [19] 経済動向
九州、福岡県、熊本県、長崎県
-
- [26] 経済指標
-
- [30] アジア展示会情報
-

【バックナンバーのお知らせ】

「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。

<http://www.fukuoka-fg.com/>

FFGのお取引先企業をご紹介します。

一番食品 株式会社

代表取締役社長 **有吉 崇**氏

取引店 福岡銀行 飯塚支店



マルソー産業 株式会社

代表取締役 **三浦 政景**氏

取引店 福岡銀行 門司駅前支店



株式会社 再春館製薬所

代表取締役社長 **西川 正明**氏

取引店 熊本ファミリー銀行 本店営業部
福岡銀行 熊本営業部



株式会社 鷹取製作所

代表取締役会長 **藤山 昭一**氏

取引店 親和銀行 久留米支店





一番食品 株式会社

代表取締役社長

有吉 崇氏

創 業：1959年11月 設 立：1962年1月
 所 在 地：福岡県飯塚市 資 本 金：8,400万円
 従 業 員：705名
 事業内容：①スープ・たれ類・調味料・レトルト食品・缶詰・惣菜・健康食品・菓子・清涼飲料等の食品製造販売
 ②食品に関する技術サービスや情報サービスを柱とした「食」の複合テクニカルサービス業
 事業拠点：福岡県飯塚市(本社・工場・営業所・アンテナショップ・日本料理店)、茨城県小美玉市(工場)、東京、大阪、名古屋、仙台、札幌(営業所)

未利用資源の有効活用からのスタート

- 当社は、私の父で元会長の有吉正臣が、1959年(昭和34年)に福岡県飯塚市にて創業した徳一食品研究所を前身としています。

父は当時、学生時代の友人が経営する水産加工工場で、魚の大部分が未利用のまま廃棄処分されていたことに衝撃を受け、これら未利用資源の有効活用方法について研究を重ねました。その結果、魚の頭部や内臓等から天然の調味料エキスであるイノシン酸を抽出することに成功。「イノシックス(商品名)」として徳一食品研究所より商品化されました。

既に58年(昭和33年)には、インスタントラーメンが市場に登場していたこともあって、商品化して間もなくイノシックスを使ったラーメン用スープの開発・製造にも取り組みました。

ただし、当時は麺用のスープは自宅で手作りしている時代で、スープそのものへの認識も乏しく、どのようにしたら、スープの販売に繋がるのかとずいぶん苦労をしたようです。それには主役の麺とセットで販売することで、消費者の利便性向上への提案に繋がるとともに、麺業界へも大きく貢献しました。それを裏付けるのが、当

時の価格でも破格の「10円ラーメン」を自社ブランドで販売し、その実績を持って麺業界への販売ソフトの提案を全国で行いました。この考え方は、麺業界だけにとどまらず、それぞれの業界の素材を活かす様々な調味料として、あらゆる食品業界へと繋がっていきました。

62年(昭和37年)1月、更なるビジネスモデルとしての構築を図るべく一番食品有限会社を設立しました。飯塚市内に本社及び工場を新設したほか、大阪や東京など全国各地への営業所の開設などを経て、現在に至っています。

共存共栄の思想から「研究開発型企業」へ

- 当社のもう一つの特徴として、「食」の複合テクニカルサービス業という顔があります。そのきっかけとも言えるのが、昭和30年代に開発した包装麺用フィルム「ファーストロン(商品名)」です。麺業界が伸びなければスープ企業である当社も伸びないという共存共栄の思想に基づき、食材だけでなく包材等の開発にも取り組みました。価格面や耐熱・耐油・耐圧性等に優れたファーストロンは、麺業界に広く受け入れて頂けるようになりました。

これまで当社は、多くのお客様と出会い、新しい商品を送り出してきました。創業以来培ってきたノウハウはもちろんのこと、年間約7,000件にも上る豊富な開発実

績は、研究開発部において全てデータベース化しており、効果的な活用が可能であると同時に、当社が得意とする多品種少量生産にも非常に役立っています。現在、コンビニエンスストアや外食産業をはじめ様々な食品業界へ業務用調味料の供給を行っており、8,500種類もの商品アイテムを送り出しています。それを可能にする為に研究開発部では約50名の開発スタッフが、市場のニーズを的確に捉え、お客様への提案を営業と共にしっかりと行っています。

更に、お客様のどのようなご要望に対しても、社員一人ひとりの幅広い知識や経験に基づき、生産技術、原料や包材等の各種ノウハウに関する部分まで総合的にご提案させて頂いております。当社のきめ細やかなカウンセリングによる提案型営業は、非常に多くのお客様からの信頼を頂戴しております。

健康な食生活への貢献を目指す

- 当社は、経営理念を「医食同源・薬食同源で健康な食生活に貢献する。」と定めています。四季折々の素材の持ち味を活かして「おいしく」「安い」しかも「安心・安全」、そして全国各地の地域の嗜好にマッチした味づくりを通じ心身の健康を図り、楽しく心豊かな食文化の向上、ひいては生活文化の向上に寄与したいとの想いを込めております。

この経営理念の実現に向けて、当社では社員が自らの足で歩き、

自らの舌で味わった「生きた」味の情報を「味の分布図」として残すことで、郷土や地方毎に微妙に異なる嗜好を視覚的にも確認出来るようにしていることに加え、九州大学等の大学や公的機関との産学官共同研究等を通じて独自技術の開発にも注力しており、新商品の開発に役立てています。

また、安心・安全な食の実現に向けて、約10年もの歳月を費やして独自開発したのが「アセプティック(無菌)充填システム」です。

このシステムは、内容物に含まれる微生物を特別な処理を施して無菌化した後、「NASA規格クラス100」と呼ばれる半導体工場や手術室よりも更にレベルの高いクリーンな環境のもと、無菌フィルムを使用した特別な包材に充填します。充填後の加熱殺菌処理が不要な為、素材の味を壊すことなく「出来立ての味」と「風味」を長期間キープすることが可能となっています。

特に、小袋タイプで完全無菌対応したのは、当社が初めてであることから、食の安全や信頼が問われる昨今、非常に付加価値の高い商品としてご好評頂いています。

おいしさづくりの確かなブレンとして

- 今後も引き続き、お客様のニーズを十分に把握することを徹底し、より一層ご満足頂ける商品やサービスのご提供を行っていきたくと考えております。

現在、東京と大阪に設置しているテストキッチンを最大限活用することで、お客様の生の声を活かした商品づくりに反映させるとともに、大都市の拠点として市場動向や商品動向といった「情報」のキャッチアップ機能を更に高め、業界の中で先んじてニーズに合った商品のご提案が出来るような機動力を持たせたいと考えております。

また、国内はもちろんのこと、アジアを中心とする海外にも商品供給や技術供与等を実践していくことで、グローバル化への対応を強化しつつ、より付加価値の高い商品を供給出来るよう、生産技術の高度化に向けた技術開発を行っていく予定です。

様々な食のシーンに安心のおいしさをお届けしていけるよう、社員一同頑張っております。



福岡銀行
取締役頭取 谷 正明

御社は、未利用資源を有効活用したいとの思いからスタートされ、現在では、生産技術や各種ノウハウ、食材そして包装資材等に関する部分までの総合的な提案を行う研究開発型企業として、多くのお客様から厚い信頼を得ていらっしゃいます。これも御社が、安全で安心な食の実現に向けて、味づくりに取り組まれてこられた賜物ではないでしょうか。今後も、お客様の声を活かした新たな商品作りにより、益々ご発展されることを祈念致します。



本社クリエイティブセンター外観



研究開発部の説明



充填ライン



無菌充填製法による和風つゆ「きわみ」等の当社商品



アセプティックオペレーター



レトルト工場で製造された商品の説明



前列左から有吉社長、谷頭取、澤田専務、有岡支店長、後列左から福岡取締役、宮房取締役

マルソー産業 株式会社

代表取締役

三浦 政景氏

創 業：1975年12月 設 立：1975年12月
 所 在 地：北九州市門司区 資 本 金：5,000万円
 従 業 員：50名
 事業内容：プラスチック製ハンガー・クリップの製造販売
 事業拠点：北九州市門司区(本社・工場)、米国(現地法人)



プラスチック製品製造から クリーニング業界へ参入

- 当社は1975年(昭和50年)私の父で現相談役の三浦捷三が、それまで勤務していたプラスチック用の金型製造会社を独立して創業したのが始まりです。

創業当初は、なかなか軌道に乗らなかったようですが、伯父が東京でクリーニング関連資材の商社を営んでいたことがヒントとなって、クリーニング業界に参入しました。

当時は、クリーニング用のハンガーと言えば、針金のハンガーが主流であり、特に女性のスカートのクリーニングでは、安全ピンや金属製の爪、糸等を使って針金ハンガーに留めていたことから、生地が傷みやすいただけでなく、留める手間も面倒でした。

父はここに着目し、プラスチックでクリップを作って「挟む」ことを考案。幾つかの試作品を経たのち、プラスチックの弾力を利用して生地を挟むスカートクリップ「リングクリップ(商品名)」が完成しました。ところが、針金ハンガーよりコスト面で割高になることから導入する店舗も少なく、一

軒一軒店舗を訪問して機能性やメリットの説明を行う日々が続きました。訪問を重ね、ようやく一店舗導入して頂けると、それからはお客様の口コミで評判が広まっていくようになり、周辺のクリーニング店からも導入したいとの声が相次ぐようになりました。

スカート用クリップに続き、80年(昭和55年)にはプラスチック製ハンガーを開発。針金ハンガーと異なり、プラスチックは肩の部分の厚みを増やす等の加工も容易です。設計面での自由度も高く、更に錆びに強い等のプラスチックのメリットも注目され、こちらも瞬く間に受注が増加していきました。

おかげさまで現在では、全国での当社のスカート用クリップのシェアは約8割、プラスチック製ハンガーは約5割となっています。

「ものづくり」へのこだわり

- 当社では、「ものづくり」へのこだわりとして、「品質」「効率」「強力なパートナー企業との連携」を掲げています。

まず「品質」については、製品の強度が必要な部位ごとにテストを実施し、合格したものだけを出荷しているほか、溶剤を使用して洗うというクリーニングの特性上、ハンガーの色素が衣服に移らないような原料を使用することで高い品質管理に努めています。

次に「効率」については、自社工場内に24時間、年間340日以上稼働を可能にした当社仕様の自動化生産ラインを備えており、射

出成形から箱詰め、搬送用パレットへの積み込みまで自動で行うなど省力化を実現しています。現在では、1日に約70万個の製品を製造することが可能です。

また、設備・金型の保守メンテナンスについても、極力外注に出すことなく自社内で対応出来る体制も整えており、効率良く且つ柔軟なものづくりを追求しています。

「強力なパートナー企業との連携」については、当社の事業の特徴を理解してくれた上で、アイデアの提供や要望に応じてくれる原材料メーカー、包装メーカー、機械メーカーとの協働を通じて品質、コスト競争力、生産能力の向上を目指しています。

在庫が信用を創出する

- お客様に満足して頂けるよう、当社では商品の安定供給にも注力しています。もし、当社が欠品をしてしまうと、納入先であるクリーニング店の仕事がストップする為、結果的にその先にいらっしゃるお客様にも大変なご迷惑をお掛けしてしまいます。また、クリーニング業界は、春と秋の衣替えの時期に需要がピークとなり、閑散期の2~3倍の需要が発生する等、季節による需要の変動が大きいことが特徴です。

当社は、そのような需要の変動にも即座に対応出来るよう、約6万ケースの保管が可能な自社物流倉庫に常時潤沢な在庫を保有しており、翌日から中二日で出荷指定先へ小ロットで直送出来る体制を

敷いています。その為、お取引先からも厚い信頼を頂いています。

環境問題への対策

- 消費者の環境に対する意識が高まっている中、当社も環境対策に取り組んでいます。当社は、全国440社のクリーニング材料販売業者等と共に、環境省より「広域認定制度」の認証を取得し、2001年(平成13年)から、自社製品の回収や再製品化に着手しています。具体的には、ハンガーの回収及びリユース(再使用)を促進させる為の企画や活動等を通じ、針金ハンガーから再利用可能なプラスチック製ハンガーへの切り替えを進めています。

お客様や社会に貢献出来る企業を目指して

- 当社は、00年(平成12年)に米国のロサンゼルスに現地法人を設立して海外進出を果たしました。設立11年目を迎えた今年も、米国での生産体制を確立すべく、自社社屋を購入して一部現地生産を開始しています。更に来年には、現

地にて企画開発したコア商品の販売を計画しており、現在約120万ドル程度の売上を3年後には300万ドルまで伸ばすことを目標としています。まだまだ米国で主流となっている針金ハンガーを、プラスチック製ハンガーに切り替えていくことで、米国市場での売上が増えていく余地は大きいと考えます。

また、中国のクリーニング市場が急成長していることから、中国市場向けにも当社商品の販売を開始し、現地での生産も含めた事業展開についても検討していく予定です。

国内についても、クリーニング業界全体で物流や生産体制の見直しを図るべく、競合他社と相互でのOEM生産等も視野に入れた、より効率的な生産・物流体制の改善も提案していくことで、消費者への付加価値を高める取り組みに直接・間接的に貢献したいと考えています。

今後も、当社は国内外で商品やサービスの開発を通じて、お客様や社会に貢献出来る企業となれるよう、全社員一丸となって頑張っ



福岡銀行
取締役頭取 谷 正明

針金ハンガーが主流だったクリーニング業界に、設計や加工の自由度が高いプラスチック製のハンガー・クリップで参入され、現在では高いシェアを確保されています。これも、ユーザーであるクリーニング店や一般消費者の目線で、使いやすい商品の開発を意識してこられたことに加え、商品の安定供給にも注力されてこられた結果ではないでしょうか。

今後も、新商品の開発や環境対策等に取り組まれることで、商品の付加価値を高められ、国内外はもとよりお客様や社会に貢献される企業となれることを期待致します。



新製品「シンプルリード・プロ」(左)と当社最初のプラスチック製品「リングクリップ」(右)



射出成形直後のハンガー



射出成形用型枠の説明



プラスチックハンガー原料の説明



梱包を待つハンガー



左から中村支店長、三浦社長、谷頭取

株式会社 再春館製薬所

代表取締役社長

西川 正明氏

創業：1932年

設立：1959年9月

所在地：熊本県上益城郡益城町

資本金：1億円

従業員：1,000名

事業内容：化粧品、医薬品、医薬部外品の製造・販売

事業拠点：熊本県上益城郡(本社、工場、コールセンター)、
東京都港区(事務所)シワ・シミひとつの基礎化粧品
「ドモホルンリンクル」を全国展開

- 当社は、創業1932年(昭和7年)漢方処方^{漢方}の医薬品や化粧品等の製造及び販売を行う製薬会社です。自然の力を人間の力に活用することによって、誰にでも訪れる老化による悩みや苦しみを和らげ、生き生きと年齢を重ねることを応援していきたい。漢方に由来するこの考えのもと、神経痛やリウマチによる痛みを取り除く「痛散湯」や、年齢肌の為の基礎化粧品「ドモホルンリンクル」を通信販売のみで全国の皆様とお付き合いをさせて頂いております。

コミュニケーションの核となるダイレクトテレマーケティング

- 82年(昭和57年)現会長である西川通子が事業を引き継いで以降、今日の経営の基礎作りが始まりました。そのひとつが、電話でのコミュニケーションを通じお客様から注文を承る「ダイレクトテレマーケティング・システム」です。それまで通信販売と言えば、はがきが主流でしたが、当社は業界でいち早く電話による注文方法に着目しました。そのおかげで売上は順調に伸び、企業規模を拡大することが出来ました。しかし、90年代始め、売上の拡大を急ぐあま

り、お客様の意に沿わない販売方法がもとで、返品が大量発生する事態となりました。「たくさんのお客様から頂くご不満のお声は、販売方法によるものばかり、商いの姿勢を正していけばお客様は支持して頂ける...。」思い悩んだ末、生命線であるテレマーケティングによるセールスを3ヵ月間停止し、当時会員となって頂いていたお客様全員にお詫びの手紙をお送りすると共に、その間営業のあり方を徹底させるべく、オペレーターに様々な研修を再度受講させました。その後、お客様の視点で商品やサービスの改善を図る「お客様満足室」を開設し、オペレーターもお客様の「ご相談相手」となることを目指した新たなテレマーケティング・システムを立ち上げ、サービスの原点を見つめ直しました。それ以降、それまでのようなお客様からのクレームは殆ど無くなり、業績も順調に推移しています。

品質へのこだわりとお客様とのコミュニケーション強化で満足度を高める

- 2004年(平成16年)西川通子は会長に、私は社長に就任しました。私は、会長が信条として来た「お客様満足こそが商いの本道」の考えを継承し、常日頃から品質に対するこだわり、そしてお客様とのコミュニケーション強化に全力で取り組んで参りました。

当社の看板商品である「ドモホルンリンクル」には天然由来の成分約150種類が配合されています。品質へのこだわりの一例として、ひとつのブランドではありますが、3~4年に一度、原料から容器等

リニューアルを行い、磨きあげた商品づくりを目指しております。

担当の社員は肌に良い原料があると聞くと世界各地の産地に出向いて、直接目や手で確かめています。近年ではリニューアルという期間を待つのではなく、それが良いものであるとわかれば、すぐに商品に反映させていくことも積極的に行っております。

お客様とのコミュニケーションにおいては、担当のオペレーターを「お客様プリーザー」と呼称を改めて意識、働き方の改革を推進しています。プリーザーとは英語のPLEASE(喜んで頂く)からの造語です。お客様プリーザーは、単に注文の受付だけでなく、商品やスキンケアに留まらない様々な相談に対応出来る、まさに当社の顔に成長しています。お客様から寄せられたご意見については、「認識一致」という社内の合言葉のもと情報を共有し、商品やサービスの改善に役立てています。実際に、視力の弱いお客様から「基礎化粧品を使用する順番の数字が読みづらい」とのご意見を頂いた際に、お客様プリーザーは手作りの大きな数字のラベルを商品に貼り付け見やすくしました。お客様の喜ばれる姿を思い描いて、自分自身で考えて、行動を起こすこと。社員のやりがいにも繋がってきています。

「大きな個人商店」として家族のような心のこもった商いを

- 私たちにとって、お客様満足を追及し続けるために目指す姿として「大きな個人商店」というものがあります。お客様のご意見、ご要望にただ企業としてお応えする

のではなく、日頃から一人の人としてお客様とお付き合いが出来る。まるで個人商店のようにお客様の背景を深く理解した上で、心の通ったお付き合いを社員一人の力ではなく組織の力を合わせてお応えしていきたいと考えております。

また、「喜ばれることが、喜びです」の言葉で表すように、お客様のお喜びになる姿が、私たちの喜びとして感じられ、未永くお付き合いをしていきたい。また、そう感じる事が出来る社員を育てていきたいと考えております。この想いは採用活動で当社を志願する学生に対して問いかける大切なこととしても捉えております。

お客様のご満足を最優先に考え、お悩みを持つお客様の為に、すぐに社内の部署を越えた連携をとっていくことで、迅速に対処していく。ワンフロアのオフィスはその為に作り上げました。

これからも選ばれ続ける商品として

- 痛散湯の販売を開始してから50年、そしてドモホルンリンクルにおいては37年を迎えます。

ここまで続けてこられたのも、私たちを支えて頂いたお客様のおかげだと思っております。今の時代、品質においては化粧品に限らず、良いことが当然の時代、企業への信頼はもとより、更なるサービスの向上が求められると感じています。

そして、90年代以降、右肩成長を続けてきた化粧品業界もここ数年マイナス傾向、新規参入もあり生活者の選択の幅も増え、選ばれること、買いたいと思ってくれることが大切だと思っております。

消費行動においても、ネット、クチコミによる情報収集を行い、個のこだわりが重視される時代に変化してきています。

そんな世の中での生活環境の変化を受け止め、これからもお客様に永く愛される選ばれる商品、そして、会社として続けていく為に基礎化粧品『シワ、シミと言えばドモホルンリンクル』であるというこだわりを強めていくこと、更なる品質の向上に努めていくと共に、時代に対応したお客様との新たな接点を増やし、会社としての質、人としての質の強化に取り組んでいきたいと考えています。



熊本ファミリー銀行
取締役頭取 林 謙治

看板商品の「ドモホルンリンクル」を中心として今や全国区となられた御社ですが、そこに至るまでにはテレマーケティング・システムの見直しや社員教育の徹底等、並々ならぬ辛労辛苦があられたものと推察致します。これからも「お客様満足こそが商いの本道」との考えのもと、「満足」から一歩進んだ「感動」をお客様にお届けされる企業として、益々成長されますことを祈念致します。



商品包装作業



社屋「つむぎ商館」内



製造ライン案内風景



フロア全景



基礎化粧品「ドモホルンリンクル」



左から西村本店営業部長、林頭取、西川社長、株式会社キューネット西川社長(グループ企業)



株式会社 鷹取製作所

代表取締役会長

藤山 昭一氏

創 業：1944年1月 設 立：1951年12月
 所 在 地：福岡県うきは市 資 本 金：1,000万円
 従 業 員：55名
 事業内容：船用弁・こし器の製造、販売
 事業拠点：福岡県うきは市(本社、工場、グループ会社)、
 東京都大田区(営業所)

地元での雇用維持を 何より重視する、 特殊船用機器のトップメーカー

当社は1944年(昭和19年)鷹取山のふもとである現在の場所に、電動油圧舵取り装置の生産を担う三菱重工業株式会社長崎造船所の疎開工場として、各地に存在していた協力工場を集約する形で創業致しました。

創業者である私の父は、利益の追求よりも「地元での雇用の維持」を何より重視しておりました。元々父は工場等の経営を行う意向はなかったのですが、地元の人達が戦後の混乱の中でもすぐに働ける場所を確保したい、という思いから創業を決意したそうです。また、社名についても、鷹取山の山頂から見渡せる範囲に住んでいる人達で、規模を大きくしすぎることなく地道に頑張っていきたい、という思いを込めて「鷹取製作所」と名付けたと聞いております。そうした父の思いは着実に受け継がれており、今でも当社の社員のほとんどが鷹取山の山頂から見渡せる範囲の住人です。中には親子2代にわたって当社で働いている社員もいます。

電動油圧舵取り装置やその部品である弁・こし器等といった船用機器の専門メーカーとしての創業以来、当社は親和銀行にご支援頂きながら、特殊船用機器の分野で事業を育んで参りました。現在では弁や電動弁、こし器といった特殊船用機器における国内トップクラスの企業として、お客様から高い評価を頂いております。

「一業に徹す」

当社が最も重視している理念は、経営方針に掲げている「一業に徹す」です。私の手帳の最初にもこの理念が書かれています。

「一業に徹す」とは、何か一つの製品づくりに特化するというのではなく、鑄造・加工・組立を基礎とした「真摯」で「誠実」なものづくりを実践することです。また、実直な地元出身の社員に一つのことに集中してもらうことで、より良い仕事をしてもらおう、という意味も込められています。

当社では長年にわたり「一業に徹す」という理念の下で特殊船用機器の製造に取り組んで参りました。その結果、ものづくりに関して、設計まで含めた幅広い領域での技術・ノウハウを蓄積することが出来、お客様との信頼関係構築にも繋がっています。

鑄造・加工・組立の一貫生産体制で「顧客満足度100%の製品供給」を目指す

当社の経営方針には「一業に徹

す」とともに「顧客満足度100%の製品供給を目指す」ことも掲げており、創業以来この方針に沿って品質向上に取り組んで参りました。

当社の主力製品である弁やこし器といった特殊船用機器は長期にわたって使用されるものであり、より高い品質・信頼性が求められます。また、機器の素材には、粘り強さや海水への耐性に優れた青銅が使用されることが多いのですが、銅合金の鑄造には温度管理等において高い技術が必要です。

そうした製品の品質向上において重要だと考えているのが、鑄造・加工・組立・検査からなる鑄造製品の「一貫生産」です。当社と同様の事業を展開している企業の中には鑄造部分を海外の企業等に外注しているところも多いのですが、当社では一貫生産を行うことによって、はじめて細かな品質の管理を行うことが出来るようになると考え、グループ内での一貫生産体制を構築しています。

以上のように、当社では長年「一業に徹す」の理念に基づいたものづくりと、自社グループ内での一貫生産に取り組むことによって、高品質な製品の供給を実現し、他社との差別化を図っています。

継続的に顧客からの信頼・満足を得るための活動に注力

現在、当社では将来的にもお客様からの信頼を獲得し続ける企業となる為、社内外向けに様々な活動を実施しています。

具体的な取り組みの例としてまず挙げられるのは「ムダ取り改善」活動です。この活動では、外部のコンサルタントを交えて、当社の強みである品質の維持、向上に努めつつ、生産工程におけるムダを取り除き、生産の短納期化・低コスト化の実現に取り組んでいます。その他、製品開発力の向上や、顧客満足度の更なる向上を目指したお客様とのコミュニケーション強化等にも注力しています。

また社員に対しても、技術の伝承や資格取得の促進、そして社内でのコミュニケーション強化に取り組んでいます。元々当社で働くことに対する満足度については社員から高い評価を得ていますが、その評価を更に高め、当社が社員にとってより働き甲斐のある会社となることを目指しています。

**永続企業を目指し、
今後も一業に徹する**

- 現在、当社では新たな事業領域を開拓し、事業の柱を現在の特殊船用機器一本から二本、三本へと

増やしていくことを目指した取り組みを進めています。また、当社の強みである品質についても、品質マネジメントに関する国際規格であるISO9001の認証の取得や、お客様から求められる規格、基準等を織り込んで構築している自社独自の「品質マネジメントシステム」の強化等によって、その維持や更なる向上を図り、「鷹取製作所の製品ならば安心」というイメージを抱いて頂けるような「品質のブランド化」の実現を目指しております。

今後も、「一業に徹す」、つまり、現状の業界や製品にとどまることなく、新たな製品づくりにおいても、当社が有している強みをフルに活用して高い品質を維持し続けることで、お客様に永くご愛顧頂く、地元での雇用も維持し続けることの出来る「顧客満足度100%の永続企業」となる為の様々な課題に取り組んで参ります。



親和銀行
取締役頭取 鬼木 和夫

御社が製造される船用機器は、その品質や技術力に対し、お客様から高い評価を得ておられます。これは、グループ内で一貫生産体制を構築され、そして長年にわたり“一業に徹す”真摯で誠実なものづくりを実践されてこられた賜物ではないかと思えます。また、「地元での雇用維持を何より重視する」という考えを創業以来受け継がれておられることには深い感銘を受けました。

“一業に徹す”という理念の下、一層の品質向上等の新たな取り組みに注力しておられる御社が、今後も地元の雇用を支える存在として益々発展されることを祈念致します。



当社製品が使用されている「飛鳥Ⅱ」



鑄造用の砂型の説明



鑄造用の炉の前にて



当社製品の説明



当社製品の説明



左から藤山社長、藤山会長、鬼木頭取、是澤支店長

新博多駅開業と九州新幹線全面開業

～福岡市をめぐる小売集積の変遷と消費者の変化を踏まえての展望～

福岡大学商学部教授
田村 馨氏



【略歴】

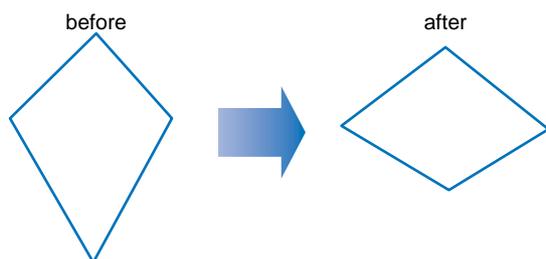
北海道大学卒業。

農林水産省政策研究所経済政策部、(株)日本総合研究所社会システム研究部、英国サリー大学サービス経営スクールを経て現在に至る。博士(学術)。著書に「都市のマーケティング」(有斐閣)、「東アジアにおける集客都市戦略」(梓書房)、「変化する「ふくおか都心」」(西日本新聞社)ほか。

2011年3月に博多駅は大型商業集積地となります。新博多駅の売場面積は約10万 m^2 。天神地区(統計区)の売場面積の約3分の1。博多駅地区(統計区)は07年比で2.5倍に膨らみます。

そして九州新幹線が全面開業します。鹿児島と博多駅は1時間20分で結ばれ、時間距離で描く九州の地図は「つぶれた菱形」となります(図表1)。

図表1 時間距離で描く九州の地図
-九州新幹線全面開業 before / after -



常識的に考えるなら、売場面積効果×時間距離短縮効果で新博多駅および周辺地区の商圈は拡大し集客力(購買吸引力)はアップすることになります。この影響で福岡市および周辺エリア、あるいは北部九州、はたまた九州全域や西日本の商圈分布や競争関係は変化することになります。新博多駅開業と九州新幹線全面開業の利益はどの地区が享受し、不利益はどの地区にもたらされるのでしょうか。関係者が一番知りたいところだと思います。だが、それを定性的、定量的に予測することは難しいでしょう(不可能かもしれません)。

本稿では、新博多駅開業と九州新幹線全面開業の影響を予測、予見するのではなく、どういう形で現れるにせよ、それらの影響が前提とする、福岡市をめぐる小売集積の変遷や消費者、来街者の変化について展望していきたいと考えています。

福岡市、天神地区小売集積の変遷

私は天神地区を中心に福岡市の小売集積の動向を10数年にわたりみてきました。まず、福岡市や、特に注目してきた天神地区の小売集積のこれまでの変化を振り返っておきましょう。

75年に、山陽新幹線(岡山～博多駅)が開業。それと機を一にするように博多大丸(75年)、天神コア(76年)、天神地下街(同)がオープンしました。これらの動きをマスコミは「第一次天神流通戦争」と称しました。

89年、「アジア太平洋博覧会福岡'89」(通称よかトピア)が開催されました。このときもこのイベントと連動するように、ソラリアプラザ(89年)、イムズ(同)がお目見えしました。この2つの商業施設だけで天神地区の売場面積は3万 m^2 増え、「第二次天神流通戦争」とマスコミははやしたてました。

いずれも福岡が都市としての存在感を増す動きと連動したものでした。バブル崩壊で東京、大阪の経済が停滞または頓挫する中、福岡の地位が相対的に高まり全国的な存在感をアピールするのです。「元気な」都市=福岡が脚光を浴び、定着した時期です。

そして「第三次天神流通戦争」の幕開けです。97年、西鉄福岡駅が南へ移動すると同時に福岡三越が出店。博多大丸は東館(エルガーラ)の開店で対抗しました。96年に開店した岩田屋Zサ

イドを含む三店舗で天神地区の売場面積は10万㎡近く拡大したのです。ちなみに、大分自動車道の全面開通(96年)やキャナルシティ博多開業(同)もあって天神地区や福岡の広域商圈化が話題を集めました。

ただし、商業施設が生まれ売場面積が拡大しても天神地区(統計区)および福岡市の小売販売額は伸びていません(図表2、3)。そして売場面積が増えた分、売場効率は10%以上低下したのです。図表4では天神からの距離別小売集積状況とその推移をみることができます。売場面積の拡大が有効性を失っている状況が示唆されています。

こういった変化を象徴するかのよう、99年に百貨店の玉屋が閉店しました。また、同年オープンした再開発商業施設、博多リバレインは集客力に勢いを吹き込むことは出来ませんでした。04年には、予定通りとはいえ、天神のシンボリックな商業施設だった、老舗百貨店岩田屋の本館が閉鎖されました。

その後、07年にロフトが天神地区に進出、10年にはパルコが、長らく空きビル状態だった旧岩田屋本館に出店しました。現時点でパルコは好調さを維持していると報じられていますが、天神地区の売上規模からいけば、パルコの売上は3%強の比率でしかありません。統計的には誤差の範囲です。パルコの好調さをもって天神

図表2 天神地区(統計区)の小売集積規模、売場効率

	販売額(億円)	売場面積(㎡)	売場効率(万円/㎡)
1997	3,868	261,593	148
2002	3,765	293,786	128
2007	3,817	295,239	129

資料：商業統計調査

図表3 福岡市の小売集積規模、売場効率

	販売額(億円)	売場面積(㎡)	売場効率(万円/㎡)
1997	20,225	1,538,093	131
2007	19,072	1,734,589	110

資料：商業統計調査

地区の趨勢を語れないということです。それどころか、パルコ好調の裏では、店舗間競争が及ぼすボディブローのような影響に苦しむ商業施設もあり、ゼロサム的な競争が天神地区の商業空間では支配的であることがうかがえるのです。

天神および福岡の商圈拡大は成果に結びつかなかった

福岡市の小売集積地といえば天神地区。福岡市の小売販売額の約2割が都心の1km²にも満たないエリアに集中します。その天神地区をめぐって流通戦争が3つも起こり、マスコミ等で宣伝される分、実態以上の存在感を天神地区は持ってきたのかもしれませんが。

実際、マスメディアの影響は無視出来ません。例えば、大分、熊本、佐賀、長崎のマスメディアは、新しい店舗、施設が天神地区に進出する

図表4 天神からの距離別小売集積の規模、売場効率

		小売販売額(億円)		売場面積(㎡)		売場効率(万円/㎡)		増減率(%)	
		1993	2006	1993	2006	1993	2006	売場面積	売場効率
天神からの距離(km)	0	4,526	4,591	265,341	350,595	171	131	32.1	23.4
	1	2,818	2,940	186,379	230,487	151	128	23.7	15.2
	2	1,823	2,018	96,802	102,952	188	196	6.4	4.3
	3	1,428	1,716	138,488	194,100	103	88	40.2	14.6
	4	2,003	1,873	154,098	186,910	130	100	21.3	23.1
	5	1,811	1,629	146,763	170,422	123	96	16.1	22.0
	6	1,766	2,424	146,546	271,097	120	89	85.0	25.8
	7	1,603	1,328	152,902	175,460	105	76	14.8	27.6
	8	859	1,291	87,059	167,505	99	77	92.4	22.2
	9	1,463	1,200	149,453	137,559	98	87	8.0	11.2
	10	570	667	54,805	85,670	104	78	56.3	25.0
	計	20,672	21,677	1,578,636	2,072,757	131	105	31.3	19.8

資料：日本政策投資銀行「新博多駅ビル開業のインパクト②」(2010.9)掲載表を加工する形で転載。データは商業統計調査のメッシュデータ(約1km四方)。

たびにそれらをテレビや雑誌を通して伝え、それで情報を得た消費者が天神地区や福岡に足を運ぶループは、ここ10数年で定着し、いまでも確実に機能しています。

それらが天神地区や福岡にとって新規需要の獲得を意味することは言うまでもありません。にもかかわらず、既にみたように、小売吸引力の天井を引き上げることは出来なかったのです。理由を2つほどあげておきましょう。

1つに、モノの集客力(購買吸引力)の低下です。景気の低迷やネットによる購買拡大も影響していきましょうが、物販ではSC(ショッピングセンター)のテナントを半分も埋められない状況が証明するように、店舗に足を運んでモノを購入する欲求は右肩上がりの時代を終えたようです。

2つに、郊外あるいは都心から離れたSCの広がりや定着です。小売の売場面積に占めるSCの割合は3割を、売上で2割を超えています。「若い人ほど都心で遊ぶ」という常識が通用しなくなって10数年が経ちます。大学生と接していて得られた感触です。それは「SCが日常的な買い物施設」になったことと無関係ではなさそうです。ちなみに、小売売場面積に占めるSC比率が高い県は、順にいうと(07年)大阪、千葉、兵庫、神奈川、富山、愛知、滋賀、石川、奈良、三重、東京、広島、福岡などで、意外にも「都市部」県なのです。

回遊性の低下

福岡や天神地区に話題テナントや商業施設が進出するのは、1つに、国内では相対的に「進出適地」とみなされているからでしょう。幻想にしる実態にしる、元気な都市=福岡は生きているのです。もう1つには、地価や家賃の低下や不動産取引条件の緩和が後押ししているからでしょう。さらには、若い世代の都心シフトが他の都市よりも大きな動きになっていることも関係していきましょう。

ただし、新しい店舗、商業施設の進出は消費

者の回遊性を高めるようには作用していません。街の中を来街者が回遊し、その賑わいが更なる誘い水となって、街の集客力向上に繋がるといったシナリオは描きにくくなっています。そのような状況がここ10年で定着した感があるのです。天神地区および福岡の商圈拡大が成果に結びつかなかった3つめの理由です。

福岡における商業施設・店舗間回遊性の調査は、私が知る限り、西日本新聞社が行った来街者調査しかありません。商業施設・店舗間回遊性の低下が明らかにされたのは、03年調査(03年11月実施。詳細は「変化する「ふくおか都心」」)です。回遊する商業施設・店舗間回遊数は98年調査に比べ、平均で約3割も低下したのです。

関係者へのヒアリングや他の調査も参照して分析を進めると、「消費者は自分の好みの商業施設・店舗が決まっており、そこに行って欲しいモノを購入したり欲しいモノが無かったら、それ以上の探索をしない傾向の強まり」が浮かび上がってきました。

回遊性の低下は物欲が低下したから?物欲低下説は現代の小売や都市の集客力を考える上で無視出来ない変化ですが、ここではペンディングとして、それ以外の別の要因に理由を求めてみましょう。それは、「不確定なりターンに期待しない選好」です。「損をしたくない」消費者の増大(あるいは/または個々の消費者の志向性の強まり)といってもいいでしょう。このトレンドは、(1)ネットによる店舗・商品情報の共有化とそれに伴う情報集中、(2)顧客との関係性強化を志向する販促の広がり、(3)疎外感の深化とその裏返しとしての「大切にされたい願望」の上昇などが生みだしたものです。

何をするにもネットで調べる消費者が増えました。またブログやソーシャルネット、ネットコミュニティでの情報発信も当たり前になっていきます。情報を収集し検索エンジン等を使って最善の情報を得ようとするほど特定の商品や店舗に関する情報への集中が進みます。

ネット社会の皮肉な一面です。皆が良いという商品や店舗が自分にとっても「良い商品、店舗」になっていくのです。消費者の横並び意識はネットによって、既存のマスメディア以上に強化されつつある感があります。

店舗も変わりつつあります。集客力が高い店は、いまや、モノを販売・購入する場から、親しみや信頼が醸成され「売り手と買い手」関係を超えた関係性が形成される場になっています。以前なら「うるさくつきまとわれるのが嫌い」だという買い物客が多数派だったのが、そうではなくなっているのです。「消費者から個客へ」の動きは顧客と特定店舗との繋がりを必然的に強めていきます。

そして、店舗で大切にされた体験はネットにアップされ他者と共有されていくのです。良くも悪くも人は自分の体験を脚色して語るものです。良い体験はより良く、悪い体験はより悪く。ネットには「大切にされた体験」「ぞんざいに扱われた体験」で溢れています。ネットの利用は「大切にされたい」願望を現実以上に膨らませます。現実社会で進行中の「疎外感」を強める社会経済事情の変化(景気低迷、失業率の高止まり、就職難、自殺者の増加など)と連動する形で。

「余計なことはしたくない」、「必要なモノ・欲しいモノだけ買いたい」、「損はしたくない」、「大切に扱われたい」消費者は、目的・アテなき街の散策をするタイプではありません。この手の消費者が増えた分、来街者が回遊し、その賑わいが更なる誘い水となって、街の集客力・販売力向上に繋がるといったシナリオ通りに、ことは進まなくなっているのです。

突破口はどこに、誰に、何に求めるのか？①

キーワードは回遊性、ガイド、ソーシャル

新博多駅開業と九州新幹線全面開業が、福岡の小売集積に支配的な状況やメカニズムを打破するインパクトを持つかどうかはわかりません。

そもそも、いま起こっているのは、個々の天

神地区や福岡市をめぐる動きとして完結するものではなく、人口減少という大きな構造変化であり、これから逃れる手は無いとの意見もあります。例えば、藻谷浩介氏「デフレの正体 経済は「人口の波」で動く」(角川oneテーマ21)では、小売販売額の右肩下がりの推移は生産年齢人口の減少(背後にあるのは人口減少社会の到来)に起因するとデータで明快に説明されています。

同じく、松谷明彦氏「人口減少経済」の新しい公式」(日経ビジネス人文庫)を読むと、経済学的に日本が「縮む」メカニズムから逃れられないことが了解されます。

それらの論の説得力は私にとって十分すぎるほど高いのですが、だからといって、今回の「新博多駅開業と九州新幹線全面開業」がより実り多きものになる可能性や模索を否定するのは生産的ではないでしょう。脳天気な楽観主義ではなく、リアリスティックな楽観主義こそが私の信条だからでもあります。

さて、街歩き、街なか散策が、この10年でしょうか、新しい観光のあり方として模索されています。長崎さるく博の成功はその1つの証です。

回遊性の低下と街歩きブーム。このふたつを繋ぐのは何でしょうか。

1つの答えは大名地区にあります。10年ほど前まで大名地区は若者が散策するエリアでした。私は「大名ブラックホール説」を当時唱えていました。大名地区に入ると天神地区をはじめとする他の商業地区・施設に出向かない来街者が多い状況を指しての命名です。若者を中心とする来街者は狭い大名地区の散策を楽しんでいたのです。それが2000年代半ば頃から、地価の上昇、全国チェーン店の参入などで天神地区との同質化が進み大名地区らしさが失われていきました。それと前後するように、サイン(道の案内や店の案内)が無い故に楽しめるはずの限界性、路地裏性を嫌う若者が増え、大名地区から若者が、そして賑わいが失われていったのです。

実は、近年の街歩きブームは「ガイドとセッ

ト」になっています。誰かに誘導してもらって街歩き、街散策なのです。

「ソーシャル」が時代のキーワードになりつつあります。Twitter、facebookはこの1年ほどで爆発的な広がりをみせています。ネット上では検索エンジンが導くリコメンド(推奨)だけでなく、特定の個人によるリコメンドが影響力を持ちはじめています。

街の回遊性を高めようとしたら、「ガイド」が欠かせないのです。博多駅地区と天神地区の回遊性を高める鍵もそこにあります。具体的に何をすべきか。たくさん思い浮かびます。ですが、紙幅もありませんので、1つだけあげておきましょう。福岡市の情報(商業施設情報、観光情報、イベント情報など)がワンストップ的に閲覧出来るサイト(あるいはプラットフォーム)は存在しません。空いた時間に劇でも観ようと思っても個々の劇場のサイトに行かないと情報は得られません(劇場で上演するにもかかわらず、主催しない演目については情報を劇場のサイトにアップしないところがあったりします)。

手始めに、博多駅地区の商業施設と天神地区の商業施設は、お互いのサイトをリンクすることから始めてみたらどうでしょうか。

皆が共有できるサイトが出来ると、次は、施設のユーザーや来街者が自ら情報をアップする仕組み(機能)を持たせればいいのです。こうなると自己増殖的な「街の情報プラットフォーム」が動き出します。

フォースクエア(Foursquare)という位置通知サービス(無料)をTwitterと連動してスマートフォンなどで使う仕組みを活用するだけで、街のなかや商業施設を移動する人たちによる、「自分の居場所を発信し、その居場所に関する様々の情報を自ら創出したり他者から得ることで、他者との関係性の中に街や商業施設が共有される、自己増殖型プラットフォーム」が形成される。

Twitterを使う若い世代は、商業施設の催事そのものではなく、催事に行ったり参加した人、もしかすると催事を舞台裏で仕掛け運営している人が発信する情報で、その催事に行くかどうかを決めたりします。例えば天神地区での「つ

ぶやき」(Twitterやミニブログ)をみて、何か面白そうだと天神地区に向かう人がこれからは確実に増えていくのです。この動きを味方につける街だけが「回遊性 にぎわい 集客力」のメカニズムをビルトイン出来るのです。

突破口はどこに、誰に、何に求めるのか? ②

キーワードは新しいサービス業の集積、 双方向の移動

天神地区の小売集積を支えるのは、実は足下商圏です。意外かもしれませんが、休日の天神地区に来街する方の6割は「30分圏内」から来られた方たちなのです。平日になるとこれが7割近くに上がります。

足下で天神地区の小売集積を支えるのは買い物客だけでなく、天神地区および周辺で働く方たちです。天神地区には4千強の事業所があり約7万人の従業員が働いています。博多駅地区(博多駅、博多駅東、博多駅南の3つの統計区の計)は6千強の事務所、約10万人の従業員です。

天神地区は1km四方にも満たないエリアに7万人の従業員が働いているのです。しかもその95%が第三次産業従事者です(同じく事業所の95%は第三次産業です)。サービス業は「需要者にそこ(サービスが供給される場)に行くこと」を求めます。サービス業が集積するエリアには需要者が足を運び、更なる集積が誘発されます。更なる集積は新たなサービス供給を誘発し、更なる需要吸引に結実します。

サービス産業で働く人はサービスの供給者であると同時に需要者でもあります。いわば、サービス業が集積するエリアにはサービス需要者に加えて、需要者でもある働く人が集まり、当該エリアの小売をはじめとするサービス産業を下支えするのです。これが福岡市の都市としての強みにほかなりません。

図表5でそのことを数字的にみておきましょう。人口シェア(県の人口に対する)に比して、福岡市の第三次産業従業者数シェア(県の第三次産業従業者数に対する)が突出して高いこと

図表5 福岡市の高いサービス産業集積度

(単位: %)

		北九州市	福岡市
小売業	事業所	22	27
	従業者	20.8	31.2
	販売額	20.4	35.6
	売場面積	21.5	27.1
第三次産業	事業所	21.4	33.1
	従業者	19.6	40.2
人口		19.5	28.1

資料:平成19年商業統計速報、平成18年事業所・企業統計調査

がわかります。福岡県の第三次産業で働く従業者の4割(人口シェアを12ポイントも上回る高さ)が福岡市で働いているのです。

その福岡市で居住者、特に20代、30代の都心回帰が進行中です(図表6)。札幌、仙台、広島、東京、大阪と比べて、その傾向は突出しています。群を抜いて高いのは30代の女性です(中心から1km圏内の増加率が)。次が30代男性、その次が20代女性です。

しかも中心地は博多駅が立地するメッシュです。博多駅エリアを中心とする都心回帰が若い世代を中心に進行しているということです。この動きが新博多駅の足下商圈に直接、間接に寄与することはいうまでもありません。更なるサービス業の集積を誘発する苗床になる可能性は高いでしょう。

そして、新幹線の全面開業で九州の縦軸(九州内だけでなく、中国・関西に通じる)を移動する時間距離が大幅に短縮することに照らすなら、天神地区とは異なるサービス業(九州各地と結ばれた)の集積に期待したいところです。既にその予兆はあります。例えば、鹿児島県のNPO法人ネイチャリング・プロジェクトは今年の1月に福岡への進出を果たしました。鹿児島で10年間蓄積してきた人材教育・育成のノウハウを福岡に持ち込んでの事業展開です。博多駅近くに福岡教室を構えますが、場所の選定基準は博多駅からの距離(近さ)です。これから鹿児島、熊本(同じく進出)、福岡の間を講師、受講生、スタッフが頻りに移動することになり、駅に近いことが最優先の基準となったのです。

福岡だけが一方的に他地域の購買力や人材、情報を吸い上げるだけなら持続的な発展は福岡にもたらされないでしょう。購買力や人材、情報が双方向で行き来する展開こそが新しい時代にふさわしい都市・地域間競争のあり方です。新しい事業コンセプト、競争概念を模索し実現していくサービス業の集積メカニズムを誘発する仕組み、場づくり、人材育成に私もコミットしていくつもりです。

図表6 中心地からの距離別×年齢別人口密度の推移

	中心地からの距離	1995年人口密度(人)			2005年人口密度(人)			増減率(95年~05年)(%)		
		20代	30代	計	20代	30代	計	20代	30代	計
男女計	0 km	903	664	5,258	1,910	1,248	8,132	111.5	88.0	54.7
	1	2,105	1,180	8,942	2,707	1,950	11,388	28.6	65.3	27.4
	2	1,474	979	6,851	1,655	1,527	8,311	12.3	56.0	21.3
	3	1,176	878	5,921	1,169	1,129	6,587	0.6	28.6	11.2
男性	0 km	486	332	2,571	893	648	4,017	83.7	95.2	56.2
	1	1,040	597	4,335	1,260	942	5,496	21.2	57.8	26.8
	2	691	477	3,231	763	705	3,881	10.4	47.8	20.1
	3	576	431	2,867	560	529	3,137	2.8	22.7	9.4
女性	0 km	417	332	2,687	1,017	600	4,115	143.9	80.7	53.1
	1	1,065	583	4,607	1,447	1,008	5,893	35.9	72.9	27.9
	2	783	502	3,620	892	822	4,430	13.9	63.7	22.4
	3	597	447	3,054	610	600	3,450	2.2	34.2	13.0

資料:日本政策投資銀行九州支店・地域振興グループ「福岡における若年居住人口の都心シフト」(2010.5)掲載表を加工する形で転載。中心地は1996年の従業者数密度が最大の1kmメッシュ。中心地は博多駅が立地するメッシュである。

START!

START!

START!

START!

START!



「給与振込」で始まる新生活 

START! CAMPAIGN!!!

2011.2.1TUE→2011.4.28THU



START!

**お取引銀行ATM時間外手数料
コンビニATM利用手数料を
※
無料にする方法があります!**

※振込手数料など、お取引によっては別途手数料が必要です。

詳しくは
窓口または
キャンペーン
チラシで

START!

START!

START!

START!

「給与振込」をはじめて ギフトカードが当たる!!

さらにお取引内容によって当選金額UP!!



<p>★</p> <p>給与振込 </p> <p>福岡銀行 50名様に</p> <p>熊本ファミリー銀行 20名様に</p> <p>親和銀行 30名様に</p> <p>5,000円分</p>
<p>★★</p> <p>給与振込 + (アレコレカード または) アレコレnimocaカード どちらか一方</p> <p>福岡銀行 50名様に</p> <p>熊本ファミリー銀行 20名様に</p> <p>親和銀行 30名様に</p> <p>10,000円分</p>
<p>★★★</p> <p>給与振込 + アレコレカード + アレコレnimocaカード ダイレクトバンキング</p> <p>福岡銀行 50名様に</p> <p>熊本ファミリー銀行 20名様に</p> <p>親和銀行 30名様に</p> <p>30,000円分</p>

※アレコレnimocaカードは福岡銀行のみの商品です。
※お取引内容の判定は給与振込をご指定いただいたお取引銀行の商品に限ります。(お取引銀行以外の商品は対象となりません。)

ギフトカードの抽選について

<p>対象となるお客さま</p> <p>以下の2つを満たし、ご応募いただいた方の中から抽選でギフトカード(福岡銀行はJCBギフトカード、熊本ファミリー銀行・親和銀行はVJAギフトカード)をプレゼントいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャンペーン期間中にお取引銀行に給与振込を新規にご指定いただき、平成23年5月末までに初回の給与の振込実績があるお客さま。 ●平成23年5月末時点でお取引銀行のマイバンク会員かつお取引銀行の普通預金を含む預り資産残高が5,000円以上あるお客さま。
<p>お取引内容の判定</p> <p>アレコレカード、アレコレnimocaカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成23年5月末時点でお取引銀行のアレコレカード、アレコレnimocaカードのご契約があるお客さま。 ※福岡銀行のアレコレカード、アレコレnimocaカードのご入会に際しては福岡銀行所定の審査を行います。 ※審査結果によっては、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ※熊本ファミリー銀行・親和銀行のアレコレカードのご入会に際しては株式会社FFGカード所定の審査を行います。 ※審査結果によっては、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ※アレコレnimocaカードは福岡銀行のみの商品です。 <p>ダイレクトバンキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成23年5月末時点でお取引銀行のダイレクトバンキングのご契約があるお客さま。

<p>応募方法</p> <p>下記FFG各銀行ホームページより お申込みOK!!</p> <p></p>	<p>店頭窓口・ATMに設置のキャンペーン チラシでもご応募いただけます!!</p>
---	--

〈抽選方法〉 FFG各銀行所定の方法により厳正なる抽選を行います。(平成23年6月予定)

〈当選発表〉 当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。(平成23年7月予定)

※ご応募はおひとり1回までとさせていただきます。

詳しくはFFG各銀行の窓口またはホームページへ。

福岡銀行

■ふくぎんテレホンサービスセンター
☎ 0120-788-321
◎携帯からもご利用いただけます。
(受付時間/A.M.9:00~P.M.8:00 但し、銀行休業日は除きます。)

■福岡銀行ホームページアドレス
<http://www.fukuokabank.co.jp>

熊本ファミリー銀行

■熊本ファミリー銀行テレホンサービスセンター
☎ 0120-189-066
◎携帯からもご利用いただけます。
(受付時間/A.M.9:00~P.M.8:00 但し、銀行休業日は除きます。)

■熊本ファミリー銀行ホームページアドレス
<http://www.kf-bank.jp>

親和銀行

■親和銀行テレホンサービスセンター
☎ 0120-122-312
◎携帯からもご利用いただけます。
(受付時間/A.M.9:00~P.M.8:00 但し、銀行休業日は除きます。)

■親和銀行ホームページアドレス
<http://www.shinwabank.co.jp>

お問い合わせ先

平成23年2月1日現在



大連の日本食事情

1. はじめに

目覚ましい経済発展を遂げている中国では、多くの外国企業が進出していることから海外の多様な文化も流入しています。中でも、日本との繋がりが歴史的にも深い大連では、様々な日本文化が浸透しています。特に「食」に関しては、日本人向けの食材がスーパーでも取り扱われているほか、多くの日本料理店も営業しています。

今回は、大連の日本食事情について紹介します。

2. 大連の日本食

大連で親しまれている日本食の1つに「刺身」があります。日本料理店のメニューにも刺身が並んでいるほか、スーパーでも日本と同様に刺身パックとして販売されています。

海に面し、漁業が盛んな大連周辺では、もともとウニやカキ等を生で食べる習慣がありました。そこに日本の「刺身」という食文化が流入したことで、今では魚も生で食べる様になりました。



大連のスーパーで販売されている刺身パック

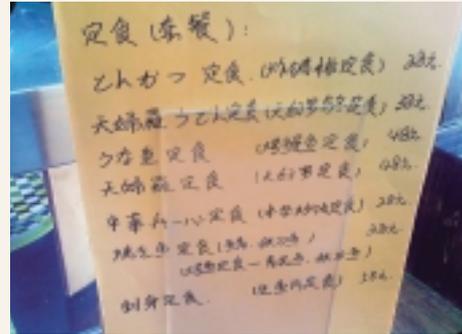
また、近年増加している回転寿司の存在も、日本食が普及する要因の一つとなっています。新鮮なネタはもちろんのこと、醤油や味噌、わさびといった日本の調味料に触れる機会が増えたことで、これらの調味料を取り扱う店舗も見られるようになり、家庭でも日本の味は身近なものとなっています。

3. 大連の日本料理店

現在大連では、百店舗以上の日本料理店が営業しており、業態もラーメン、お好み焼き、もつ鍋、居酒屋など多岐に渡っています。

日本料理店のほとんどの従業員は、比較的

流暢な日本語を話すことが出来る為、中国語を使わなくても注文が可能です。価格については、現地の料理店よりは割高なもの、日本よりは安価であるケースが多くなっています。



大連の日本料理店のメニュー

また、最近の日本料理店の特徴として、中国人来店客数の増加が挙げられます。その理由として、日本人が調理する味付けの評判が高いことに加え、中国人の所得水準向上により「日本料理店で食事すること」がステータスとなってきていること等が挙げられます(表1 上段)。

更に、日本でも有名な飲食チェーン店が多く進出していることも、中国人来店客の割合増加の要因となっています。

4. おわりに

大連では、近年の経済発展に伴う日本企業の進出により日本人の居留者数も増加し、様々な日本文化が取り入れられて来ました(表1 下段)。

当初は、日本人を対象としていた日本料理店ですが、今では大連の人々が外食する際の選択肢の1つとして、しっかりと根付いています。

(大連駐在員事務所トレーニー 西野 洋平)

表1 在職労働者平均月間給与および大連在留邦人数

年次	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
平均給与(元)	1,822	2,017	2,353	2,859	3,231
邦人数(人)	3,145	4,020	4,123	4,868	5,427

(人民币: 日本円 12.5)

中国内平均月間給与は2,728元。大連市は都市別ランキングで第9位(2009年)

邦人数は各年の10月1日時点で大連に3ヵ月以上滞在、滞在届を提出した人のみを指す

資料(平均給与): 在瀋陽日本総領事館在大連(駐)事務所

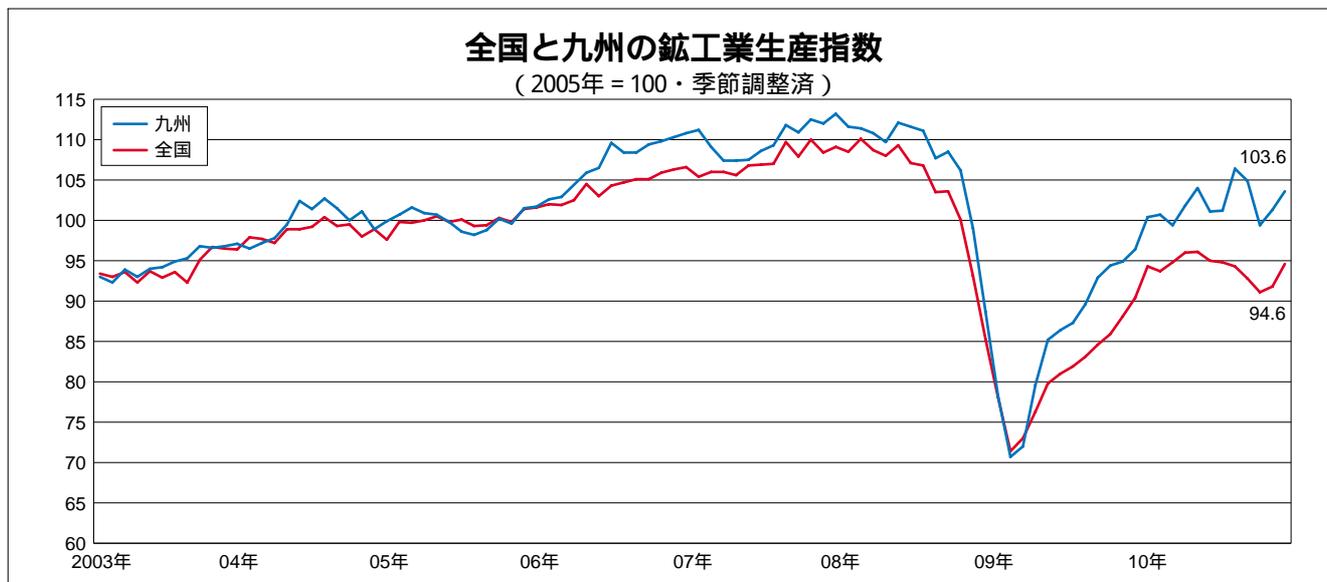
資料(邦人数): 大連市人力資源社会保障局

出所: 日本貿易振興機構(ジェトロ)大連事務所

九州の鉱工業生産動向

[基調判断] 持ち直しの動きが見られる

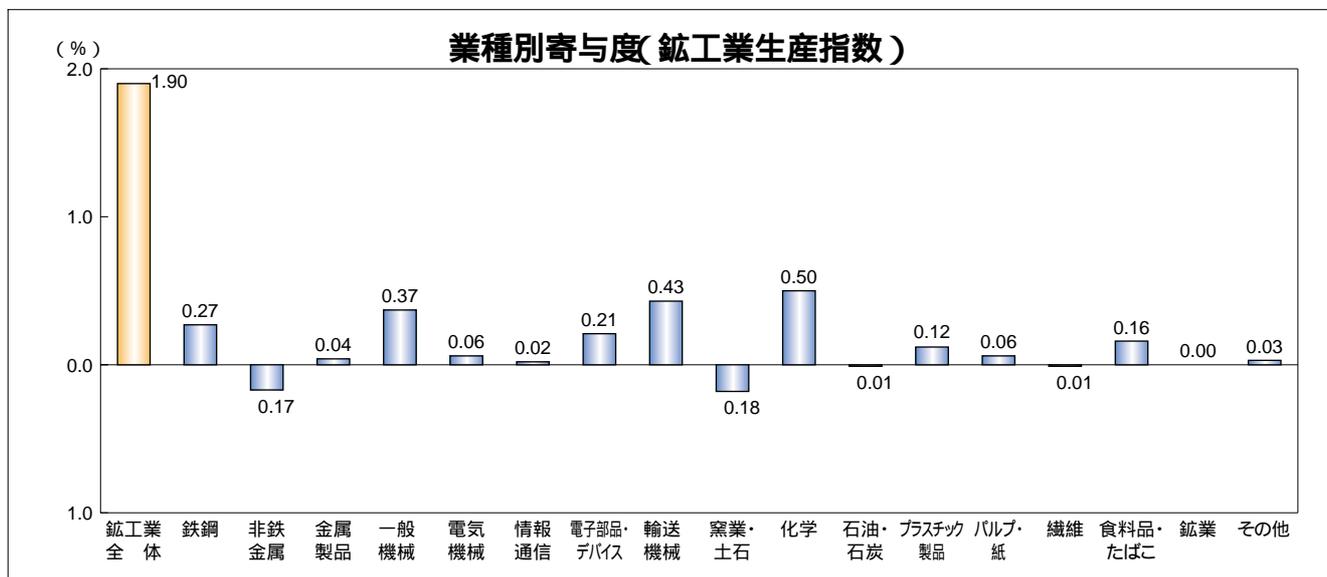
2010年12月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、輸送機械や化学、一般機械等で生産が軒並み好調に推移したことにより、前月比1.9%上昇の103.6と2ヵ月連続で前年実績を上回る等、持ち直しの動きが見られます。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向] 好調な海外需要を背景に輸送機械・化学・一般機械等17業種中13業種で上昇

業種別の寄与度をみると、中国・北米向け乗用車が好調なことから輸送機械や座席の素材であるウレタンの需要が増えた化学等が上昇したほか、中国・台湾向けスマートフォン等の半導体製造装置や、新興国向け発電機に使用される蒸気タービンの生産が増加した一般機械も順調に推移する等、全17業種中13業種でプラスに寄与しました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

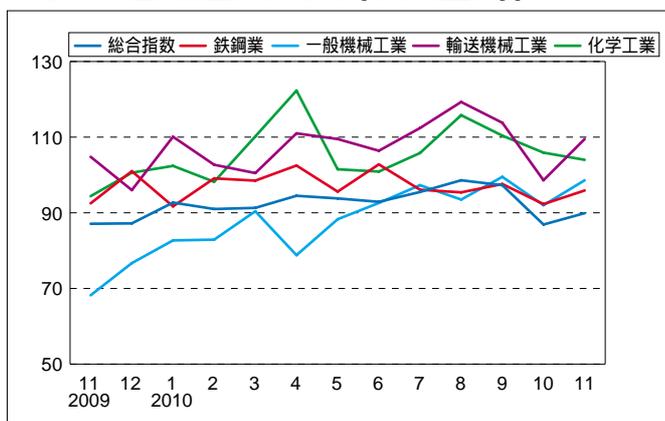
[福岡県の景気].....持ち直しの動きが見られる

生産活動では、海外で乗用車や薄型テレビ向けディスプレイ製造装置等の需要が好調なことから、輸送機械や一般機械が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

消費面では、12月中旬まで暖かい日が続いた為、冬物衣料品の動きが鈍かったこと等が影響し、3ヵ月ぶりに前年を下回りましたが、住宅建設については、マンション着工は減少しているものの住宅取得関連の優遇制度の効果もあり、持家取得の動きは引き続き堅調となっています。

[生産活動].....総合指数は3ヵ月ぶりのプラス

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



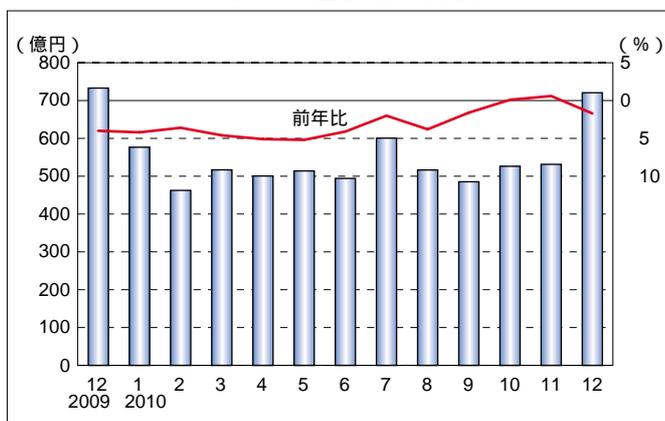
(出所)福岡県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は89.9となり、前月比3.5%上昇しました。

主要業種では、海外向け乗用車生産が好調な輸送機械が前月比で11.1%上昇したほか、一般機械もアジア向けのディスプレイ製造装置が好調だったことから前月比で上昇しています。

[大型小売店].....3ヵ月ぶりに前年を下回る

福岡県の大型小売店販売額



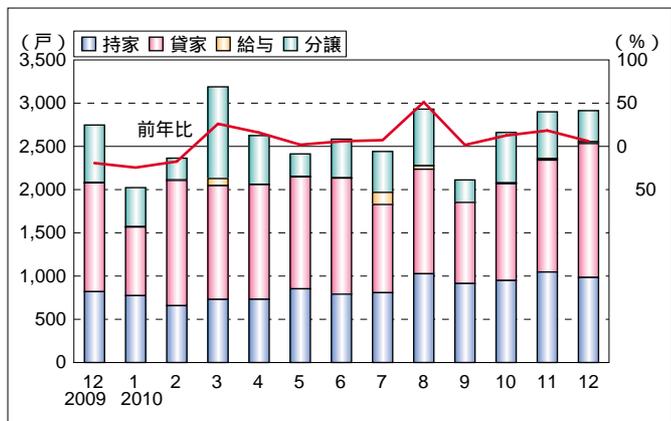
(出所)九州経済産業局

12月の大型小売店販売額は、前年同月比1.7%減の721億円と、3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

中旬まで気温の高い日が多かったことで、冬物衣料品等の動きが鈍かったことや年末に急激に冷え込んだことにより、客足が遠退いたこと等が影響しています。

[住宅建設] 10ヵ月連続で前年を上回る

福岡県の新設住宅着工戸数



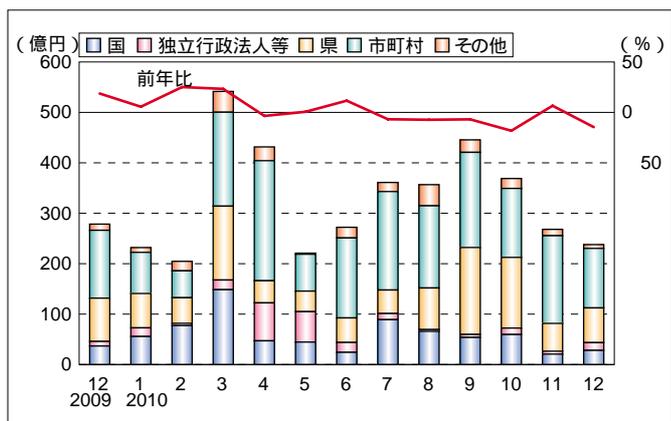
(出所) 国土交通省

12月の新設住宅着工戸数は、持家で前年同月比20.0%増の984戸、貸家で同23.1%増の1,549戸と順調に増加しましたが、分譲についてはマンション着工が大幅に減少した影響が大きく、前年同月比46.0%減の360戸となりました。全体では同6.0%増の2,913戸と10ヵ月連続で前年比プラスとなっています。

住宅減税等の効果等から、持家取得の動きは堅調に推移しています。

[公共工事] 件数、請負金額ともに減少

福岡県の公共工事請負高



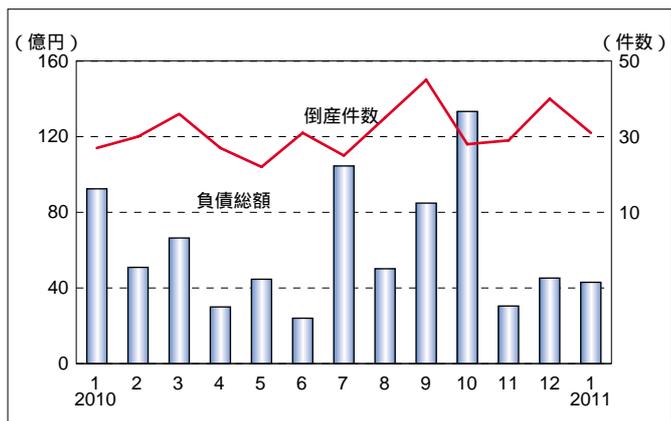
(出所) 西日本建設業保証

12月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比8.6%減の1,037件、金額は同14.6%減の238億円となり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別にみると、大学跡地再開発等で「独立行政法人」が増加(同70.5%増)したものの、「国」(同23.6%減)や「県」(同19.9%減)は前年を下回りました。

[企業倒産] 負債総額は前年を大きく下回る

福岡県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比4件(14.8%増)の31件、負債総額は大型倒産が発生した前年同月(小売業の破綻等により92億円を計上)に比べ53.5%減の43億円と大きく減少しました。

前月比では件数、負債金額ともに小幅ながら減少しています。

熊本県の最近の経済動向

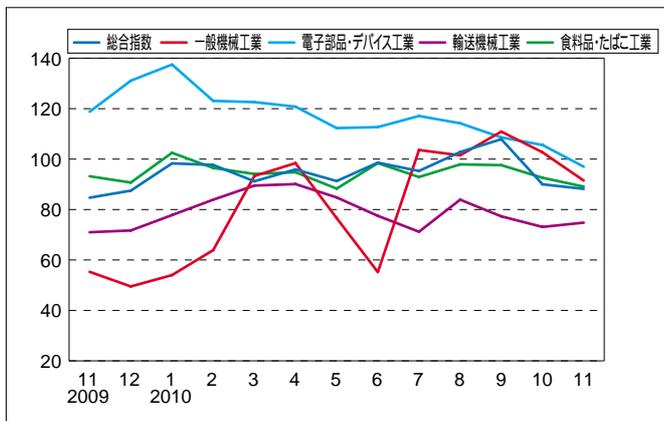
[熊本県の景気].....持ち直しの動きにやや鈍化の兆しが見られる

生産活動では、家電向けの集積回路が低調なこと等から総合指数は2ヵ月連続で前月を下回っており、持ち直しの動きにもやや鈍化の兆しが見られていますが、落ち込み幅は縮小しています。

消費面では、日用品等は好調な一方で、主力の衣料品等が弱含んだことにより、横ばい圏で推移したほか、住宅建設も貸家・分譲は減少していますが、持家は順調に推移しています。

[生産活動].....総合指数は小幅低下

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



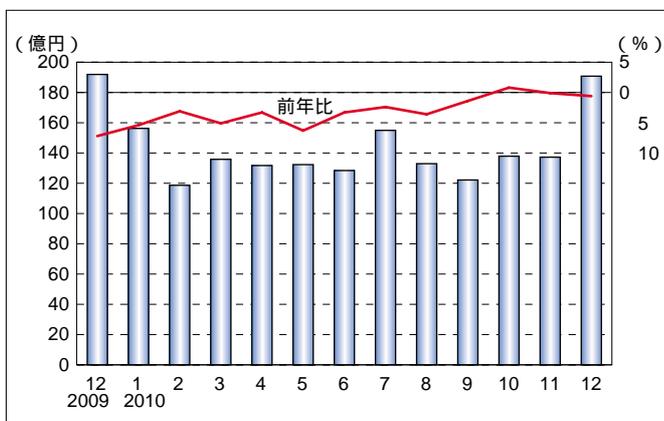
(出所)熊本県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は88.2となり、前月比2.0%低下しました。

主要業種では、家電等の電化製品に使用される集積回路の生産が低調なこと等が影響し、電子部品・デバイスが落ち込んだ一方、輸送機械が堅調に推移したことで、全体では小幅低下となりました。

[大型小売店].....主力の衣料品が伸びず前年並み

熊本県の大型小売店販売額



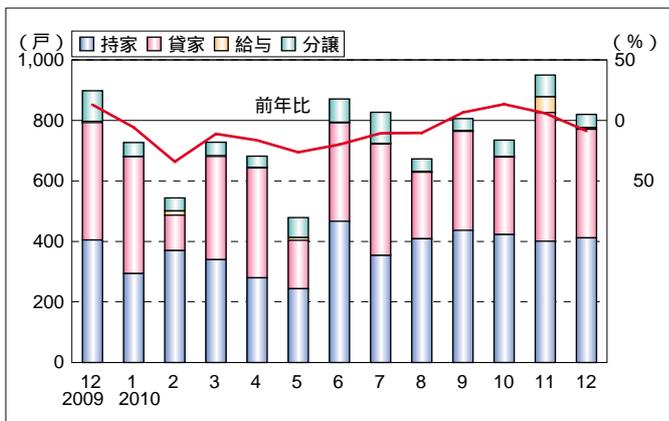
(出所)九州経済産業局

12月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6%減の191億円と、前年並みとなりました。

年末を控えて需要が増加した日用品や、暖房器具等の家電類が消費の牽引役となった一方で、主力の衣料品等の動きが鈍かったことから全体ではほぼ横ばいとなりました。

[住宅建設] 4 ヶ月ぶりに前年を下回る

熊本県の新設住宅着工戸数

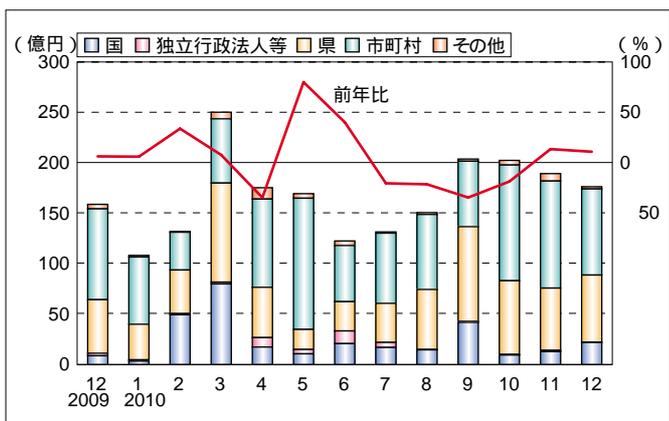


(出所) 国土交通省

12月の新設住宅着工戸数は、持家については前年同月比1.7%増の412戸となった一方、貸家が同7.5%減の359戸、分譲はマンション着工が無かったことで同56.4%減の44戸と低調に推移したことから、全体では同8.7%減の820戸と4ヶ月ぶりに前年を下回りました。

[公共工事] 請負金額は2 ヶ月連続で前年を上回る

熊本県の公共工事請負高



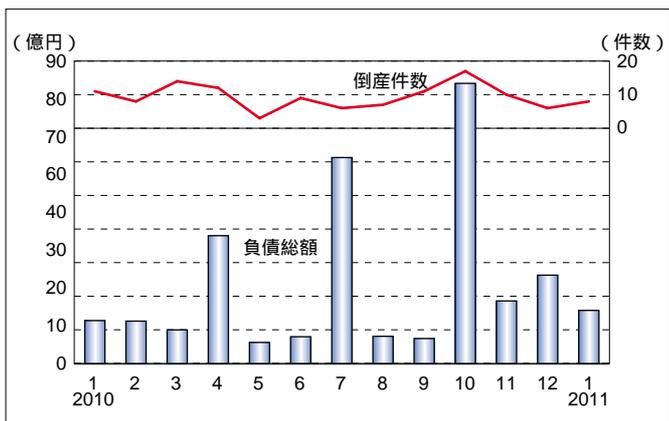
(出所) 西日本建設業保証

12月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比0.2%減の872件、金額が同10.9%増の176億円となり、請負金額は2ヶ月連続で前年を上回りました。

学校建設やトンネル事業等の大型案件で「国」や「県」が増加しています。

[企業倒産] 負債総額は前年を上回る

熊本県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比27.3%減の8件、負債総額は同23.6%増の15億円となりました。

10億円以上の大口倒産は見られなかったものの、建設関連企業で8億円を超える倒産が発生したことから負債総額は前年を上回りました。しかしながら、前月比では約40%減少しています。

長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気].....持ち直しの動きが続いている

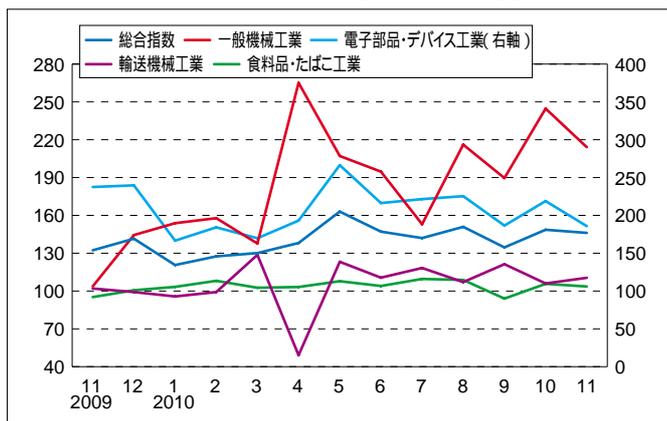
生産活動では、新造船等の輸送機械が堅調な一方、パソコン等の集積回路の生産が伸び悩んだことから、電子部品・デバイスが前月比で10%超の低下を見せていますが、依然高水準の生産は維持しており、持ち直しの動きが続いています。

消費面では、主力の衣料品や飲食料品は低調ながらも、家電類等が好調で販売額も微増となったほか、年間販売額でも前年比のマイナス幅は縮小しています。

企業倒産は、大口倒産が2件発生した為、負債総額は大きく増加していますが、件数は前月比で減少する等、低水準の状況は続いています。

[生産活動].....総合指数は2ヵ月ぶりにマイナス

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



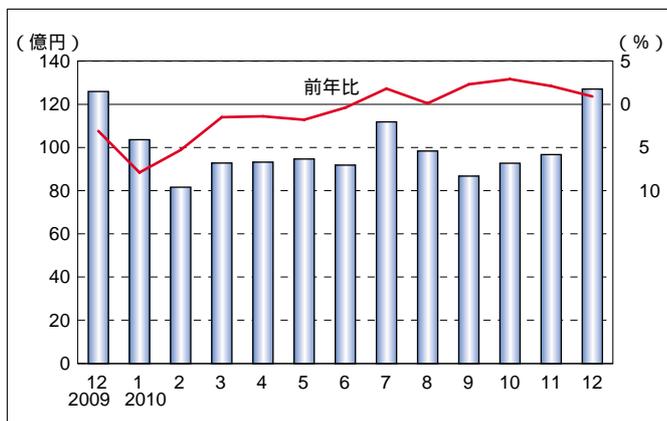
(出所)長崎県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は146.1となり、前月比1.7%低下しました。

主要業種では、輸送船の新造等で輸送機械が前月比4.2%上昇しています。一方、パソコンや家電の集積回路の生産が低調だったこと等から、電子部品・デバイスは前月比15.1%低下しましたが、高い水準は維持しています。

[大型小売店].....6ヵ月連続で前年を上回る

長崎県の大型小売店販売額



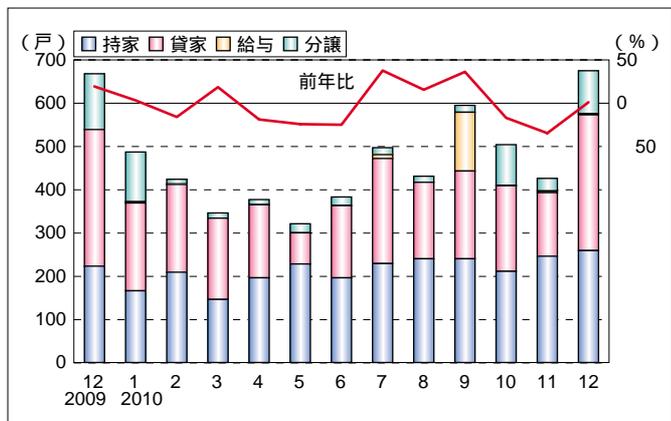
(出所)九州経済産業局

12月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%増の127億円で、6ヵ月連続で前年を上回りました。

中旬まで気温が高めの日が多く、冬物衣料品等の動きが全体的に鈍かった一方、家電類の販売が増加したこと等から、全体では前年を上回りました。

[住宅建設] 3 カ月ぶりに前年を上回る

長崎県の新設住宅着工戸数



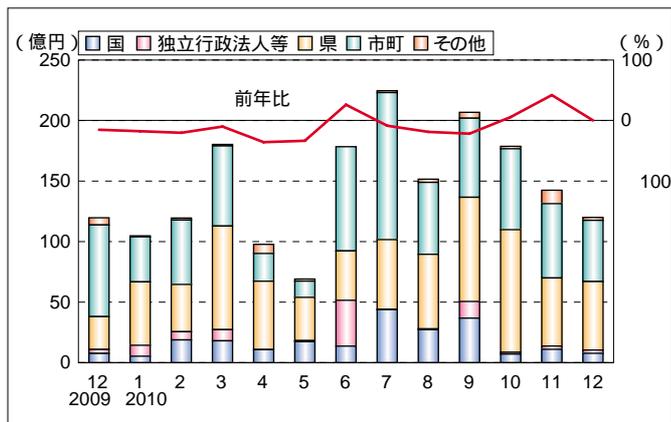
(出所) 国土交通省

12月の新設住宅着工戸数は、住宅減税の効果等もあり持家については前年同月比16.1%増の259戸となったほか、分譲についても、戸建は同35.3%増の23戸と順調に推移しています。一方、マンションは低調で同32.1%減少しています。

全体では同1.0%増の675戸と3カ月ぶりに前年を上回りました。

[公共工事] 件数、請負金額ともに前年を上回る

長崎県の公共工事請負高



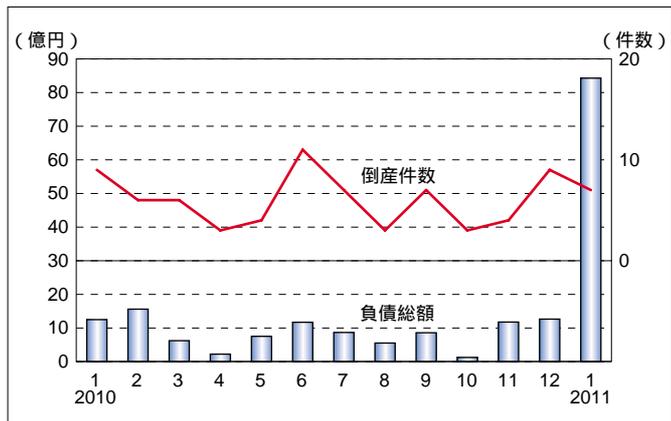
(出所) 西日本建設業保証

12月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比4.4%増の517件、金額が同0.2%増の120億円と、件数、請負金額ともに前年を上回りました。

発注者別の請負金額をみると、トンネル、ダム事業等の大型案件で「県」が増加したほか、米軍関連施設の工事案件により「国」も増加しています。

[企業倒産] 大口倒産発生により負債総額増加

長崎県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件(22.2%)減の7件となったものの、肥料・飼料卸売業や乗用旅客自動車運送業で合計約35億円もの大口倒産が発生したことにより、負債総額が同576%増の42億円と大幅に増加しました。

経済指標 | 全国のデータ

項目 年月	鉱工業指数 (2005年 = 100)						機械受注金額 (船舶・電力 を除く民需)	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)	
	生産指数		出荷指数		在庫指数			輸出金額	輸入金額	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)							
2007年	107.4	1.3	107.8	3.1	103.9	1.7	4.0	11.5	8.6	119,268	1.3	89,722	10.3
2008年	103.8	3.3	104.3	3.2	106.7	2.7	6.0	3.5	8.0	115,901	2.8	99,741	11.2
2009年	81.1	21.9	82.1	21.3	97.2	8.9	26.9	33.1	34.8	127,120	9.7	77,836	22.0
2009.11	88.1	2.9	88.8	2.2	93.2	14.2	11.3	6.3	16.7	8,441	0.0	6,733	7.8
12	90.4	6.4	90.9	6.3	93.0	14.6	20.1	12.0	5.5	8,658	10.3	6,102	30.8
2010.1	94.3	18.9	95.0	20.1	94.0	12.3	3.7	40.9	8.8	5,791	3.8	5,965	22.0
2	93.7	31.3	94.8	29.0	95.5	7.5	5.4	45.3	29.5	5,790	8.8	6,743	14.7
3	94.8	31.8	96.7	29.9	94.0	6.0	7.0	43.5	20.6	13,411	16.0	7,808	18.8
4	96.0	25.9	98.1	27.1	94.6	3.4	4.0	40.4	24.2	13,278	0.1	5,850	4.2
5	96.1	20.4	96.4	21.0	96.5	0.8	9.1	32.1	33.4	7,402	5.9	5,719	8.1
6	95.0	17.3	96.6	18.1	97.2	1.2	1.6	27.7	26.1	10,338	5.8	6,283	6.4
7	94.8	14.2	96.5	14.7	96.7	1.3	8.8	23.5	15.7	11,410	8.8	6,951	7.9
8	94.3	15.1	95.7	15.8	97.5	2.6	10.1	15.5	17.9	9,216	8.4	6,315	1.3
9	92.8	11.5	95.2	12.6	97.6	3.4	10.3	14.3	10.0	11,620	18.8	7,498	48.4
10	90.9	4.3	92.3	4.1	96.6	3.8	1.4	7.8	8.8	10,367	18.1	6,386	7.6
11	91.8	5.8	94.7	8.1	94.9	1.9	3.0	9.1	14.2	7,912	6.3	5,504	18.3
12	94.8	4.9	95.8	5.4	96.4	3.7	1.7	12.9	10.6	7,090	18.1	5,017	17.8
出所	経済産業省						内閣府	財務省		西日本建設業保証		国土交通省	

項目 年月	新設住宅着工戸数					企業物価指数 (2005年 = 100)		消費者物価指数 (2005年 = 100)		大型小売店 販売額		乗用車	
	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	乗用車新規登録台数	
	戸	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)							台	前年比 (%)
2007年	1,060,741	17.8	12.2	18.7	22.3	104.0	1.8	100.3	0.1	211,988	0.3	2,945,668	5.8
2008年	1,093,485	3.1	1.2	5.2	1.8	108.7	4.5	101.7	1.4	209,511	1.2	2,793,626	5.2
2009年	788,410	27.9	10.6	30.8	43.7	103.0	5.3	100.3	1.4	197,758	5.6	2,634,048	5.7
2009.11	68,198	19.1	8.3	25.3	38.2	102.1	5.0	99.8	1.9	16,215	9.0	267,706	44.0
12	69,298	15.7	3.0	22.7	27.4	102.2	3.8	99.6	1.7	20,691	4.2	229,620	45.4
2010.1	64,951	8.1	5.4	14.5	11.7	102.3	2.2	99.4	1.3	17,147	5.1	218,775	42.7
2	56,527	9.3	2.9	8.4	25.6	102.4	1.6	99.3	1.1	14,023	3.4	268,720	38.9
3	65,008	2.4	3.2	12.5	8.8	102.6	1.3	99.6	1.1	15,831	4.1	401,525	40.6
4	66,568	0.6	2.3	7.0	27.4	103.0	0.2	99.6	1.2	15,463	3.1	200,252	36.9
5	59,911	4.6	4.8	13.5	0.8	103.3	0.5	99.7	0.9	15,656	3.2	206,933	29.8
6	68,688	0.6	4.4	10.9	24.6	102.8	0.4	99.7	0.7	15,634	2.4	265,372	20.9
7	68,785	4.3	4.4	5.9	27.2	102.8	0.1	99.2	0.9	17,189	1.0	307,015	15.5
8	71,972	20.5	15.5	16.9	35.2	102.8	0.0	99.5	0.9	15,500	1.3	267,426	48.9
9	71,998	17.7	12.9	2.2	58.9	102.8	0.1	99.8	0.6	14,778	1.1	278,002	5.3
10	71,390	6.4	10.4	9.0	37.1	102.9	0.8	100.2	0.2	15,809	1.3	171,374	28.6
11	72,838	6.8	7.1	9.5	46.3	103.0	0.9	99.9	0.1	16,325	0.7	178,064	33.5
12	74,517	7.5	11.8	8.4	37.6	103.4	1.2	99.6	0.0	20,435	1.2	157,041	31.6
出所	国土交通省					日本銀行		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	完全 失業率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				件	前年比 (%)	百億円	前年比 (%)	百億円	前年比 (%)
	台	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)								
2007年	1,447,106	4.0	442,505	0.2	323,459	1.0	1.04	3.9	14,091	6.4	54,251	3.0	40,440	1.0
2008年	1,426,979	1.4	442,749	0.1	324,929	0.5	0.88	4.0	15,646	11.0	55,369	2.1	42,147	4.2
2009年	1,283,429	10.1	427,912	3.4	319,060	1.8	0.48	5.1	15,480	1.1	56,720	2.4	41,662	1.2
2009.11	100,271	8.2	354,753	3.2	303,564	2.1	0.43	5.2	1,132	11.4	56,505	2.4	41,361	0.0
12	91,199	2.7	768,386	6.4	359,254	1.7	0.43	5.1	1,136	16.6	56,720	2.4	41,662	1.2
2010.1	99,906	2.2	362,227	1.9	321,633	0.0	0.46	4.9	1,063	21.8	56,591	2.7	41,404	1.1
2	125,212	3.9	391,042	0.2	285,211	3.5	0.47	4.9	1,090	17.3	56,837	2.3	41,383	1.3
3	177,511	0.2	362,466	1.0	352,552	2.3	0.49	5.0	1,314	14.5	57,961	2.6	41,617	1.4
4	97,968	9.4	383,980	0.6	331,621	3.7	0.48	5.1	1,154	13.2	57,765	2.4	41,043	1.8
5	93,488	10.0	320,542	6.2	303,326	4.4	0.50	5.2	1,021	15.1	57,978	3.0	40,892	1.9
6	111,237	11.7	599,669	6.5	297,809	0.5	0.52	5.3	1,148	19.3	57,996	2.0	40,944	1.6
7	113,196	6.5	463,447	1.3	316,659	0.0	0.53	5.2	1,066	23.1	57,354	1.9	40,858	1.6
8	101,433	21.1	388,478	0.3	323,758	1.8	0.54	5.1	1,064	14.3	57,409	2.3	40,675	1.7
9	122,380	2.2	352,244	1.0	307,437	1.9	0.55	5.0	1,102	4.6	57,752	2.4	41,044	1.5
10	79,852	19.0	419,532	8.4	320,727	4.7	0.56	5.1	1,136	9.9	57,302	2.4	40,677	1.9
11	80,269	19.9	357,263	0.7	309,548	2.0	0.57	5.1	1,061	6.3	57,586	1.9	40,603	1.8
12	82,213	9.9	758,719	1.3	349,495	2.7	0.57	4.9	1,102	3.0	57,671	1.7	40,931	1.8
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ	日本銀行				

(注) pは速報値、rは修正値。鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間は実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行、長期信用銀行の合計、ただし、特別国際金融取引動定を含まない。

経済指標 | 福岡県のデータ

項目 年月	鉱工業生産指数 (2005年 = 100)										鉱工業出荷指数 (2005年 = 100)		鉱工業在庫指数 (2005年 = 100)	
	総合		鉄鋼		電気機械		一般機械		輸送機械		季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)				
2007年	102.4	0.2	105.9	3.3	113.6	3.9	101.2	2.9	112.3	4.6	102.7	0.3	122.3	7.4
2008年	102.7	0.3	100.8	4.9	116.3	2.4	113.7	12.4	113.4	1.0	101.6	1.1	122.1	0.1
2009年	79.6	22.5	76.0	24.6	71.8	38.3	72.7	36.1	79.6	29.8	78.4	22.8	113.3	7.3
2009.11	84.8	4.2	91.1	0.8	75.5	29.1	67.5	35.8	99.8	31.7	85.3	1.8	100.6	19.0
12	87.3	2.5	99.5	30.2	81.2	22.3	73.4	22.9	98.3	39.7	87.8	9.0	98.6	22.5
2010.1	93.4	21.5	92.9	58.8	79.9	9.3	84.8	3.0	111.5	70.7	93.3	26.7	98.6	19.4
2	91.3	39.1	100.9	74.1	89.0	21.8	84.6	8.9	105.7	165.0	91.0	48.6	91.9	25.6
3	93.9	31.0	103.4	70.1	98.9	35.8	89.2	2.0	105.2	133.3	93.7	41.2	91.7	22.8
4	94.5	27.8	102.5	68.2	90.3	38.3	78.8	26.1	111.0	59.8	92.7	25.1	96.3	18.0
5	93.8	17.9	95.6	34.0	93.1	45.3	88.3	26.7	109.5	30.5	93.2	20.9	122.8	7.6
6	92.9	17.3	102.8	39.5	91.5	42.9	92.6	41.6	106.4	28.1	91.8	17.0	159.6	37.1
7	95.5	15.8	96.1	18.8	89.4	37.6	97.3	47.5	112.4	26.4	96.3	15.5	134.6	5.0
8	98.6	18.8	95.4	16.0	96.7	43.5	93.5	30.4	119.3	30.7	98.9	19.7	128.5	16.2
9	97.3	14.5	97.6	16.3	96.5	33.4	99.5	39.9	113.8	20.0	95.9	13.6	119.5	12.9
10	86.9	2.3	92.3	5.5	97.5	39.5	92.0	36.0	98.6	4.6	86.1	0.9	106.9	3.1
11	89.9	6.7	95.9	5.9	93.9	24.7	98.6	46.6	109.5	9.8	90.2	6.4	146.1	43.9
12														
出所	福岡県調査統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2005年 = 100)		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	合計		持家	貸家	分譲	福岡市		百万円	前年比 (%)
	前年比 (%)	前年比 (%)					戸	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	指数	前年比 (%)		
2007年	17.0	11.6	4,673	9.9	3,661	2.1	45,066	23.6	9.8	21.1	40.2	100.0	0.1	716,699	1.0
2008年	8.4	2.2	4,262	8.8	3,680	0.5	47,139	4.6	0.3	3.0	30.3	101.0	1.0	700,451	2.3
2009年	33.2	35.0	3,965	7.0	2,310	37.2	28,997	38.5	10.5	46.6	45.5	99.6	1.3	663,772	5.2
2009.11	19.1	22.6	252	10.0	198	3.2	2,451	22.3	10.8	33.8	24.2	98.9	2.1	52,832	9.6
12	23.1	12.9	279	18.7	213	18.2	2,747	19.3	2.0	30.4	11.4	98.7	1.9	73,302	4.0
2010.1	50.9	6.5	232	5.6	140	15.5	2,023	24.5	18.9	52.3	32.2	98.5	1.6	57,663	4.2
2	69.1	25.4	205	25.1	57	59.0	2,364	17.5	6.5	26.5	76.5	98.5	1.1	46,251	3.6
3	69.7	21.3	542	23.3	456	115.2	3,189	26.1	6.4	3.9	146.7	99.2	0.6	51,681	4.6
4	30.4	21.4	432	3.5	139	3.4	2,625	15.9	11.3	18.3	17.3	98.6	1.6	50,051	5.1
5	42.1	18.2	221	0.6	238	19.1	2,413	1.9	19.3	54.2	68.1	98.9	1.1	51,391	5.2
6	21.7	19.7	272	11.6	193	1.4	2,584	5.9	2.0	17.4	30.9	98.9	0.8	49,414	4.1
7	30.7	14.6	361	6.8	378	206.0	2,441	7.2	2.2	2.9	19.1	98.6	0.9	60,066	2.0
8	20.1	26.7	357	7.3	164	9.8	2,931	51.2	28.7	35.1	171.8	99.0	0.7	51,644	3.8
9	20.3	10.6	446	6.9	205	27.6	2,112	1.6	20.6	14.2	26.5	99.2	0.6	48,532	1.6
10	20.4	7.9	369	18.2	160	38.1	2,661	12.6	11.6	15.0	10.0	99.4	0.0	52,628	0.1
11	32.3	18.5	268	6.6	249	25.4	2,900	18.3	29.1	7.3	26.3	99.0	0.1	53,138	0.6
12	28.7	18.4	238	14.6	194	8.9	2,913	6.0	20.0	23.1	46.0	98.8	0.1	72,064	1.7
出所	門司税関		西日本建設業保証				国土交通省					総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高					
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				北九州・福岡大都市圏		北九州・福岡大都市圏		億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)
	台	前年比 (%)	台	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)			円	前年比 (%)	円	前年比 (%)				
2007年	110,632	5.0	57,556	4.1	389,439	4.5	307,328	3.7	0.85	504	0.4	170,787	1.8	134,357	2.0			
2008年	105,889	4.3	56,454	1.9	396,303	1.8	312,775	1.8	0.63	545	8.1	174,098	1.9	137,598	2.4			
2009年	99,616	5.9	51,812	8.2	391,029	1.3	305,554	2.3	0.42	480	11.9	179,050	2.8	138,767	0.8			
2009.11	10,222	39.9	4,055	7.7	331,263	0.7	268,630	0.2	0.40	31	36.7	177,067	2.9	138,363	2.3			
12	8,486	46.6	3,556	2.3	649,891	9.6	365,667	13.9	0.39	45	2.2	179,050	2.8	138,767	0.8			
2010.1	8,783	54.9	4,405	2.0	346,312	4.6	338,411	20.5	0.41	27	42.6	178,408	2.5	138,416	0.4			
2	10,840	46.3	5,184	4.9	371,985	9.3	264,704	17.5	0.42	30	3.2	179,162	2.5	138,534	0.7			
3	14,857	47.6	6,872	4.7	327,194	10.0	308,069	1.8	0.43	36	18.2	179,118	3.5	137,933	0.6			
4	7,927	40.9	3,989	15.9	350,028	3.6	360,546	4.4	0.44	27	25.0	181,214	2.4	137,660	1.0			
5	8,219	41.0	3,948	29.1	313,200	2.7	285,758	1.0	0.45	22	47.6	181,283	1.8	137,707	1.4			
6	10,367	28.5	4,743	15.4	513,232	0.1	283,388	6.9	0.46	31	35.4	181,560	2.1	136,721	0.2			
7	11,730	14.6	5,093	17.6	426,170	5.9	299,089	1.1	0.46	25	44.4	181,630	3.1	137,879	0.2			
8	10,903	46.3	4,488	29.2	365,563	4.5	278,519	9.1	0.46	35	6.1	180,532	2.5	136,956	0.4			
9	10,295	10.1	5,053	2.7	314,360	2.5	294,937	5.5	0.47	45	2.3	180,087	2.5	138,394	0.2			
10	6,981	23.3	3,007	22.7	379,528	7.3	289,976	5.9	0.50	28	17.6	180,682	2.3	138,815	0.0			
11	6,761	33.9	3,376	16.7	319,093	3.7	299,234	11.4	0.52	29	6.5	180,587	2.0	139,142	0.6			
12	5,987	29.4	3,255	8.5	643,547	1.0	341,330	6.7	0.53	40	11.1	182,364	1.9	140,690	1.4			
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会				総務省		厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行						

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 | 熊本県のデータ

項目 年月	鉱工業生産指数 (2005年 = 100)										鉱工業出荷指数 (2005年 = 100)		鉱工業在庫指数 (2005年 = 100)	
	総合		食料品		電子部品		一般機械		輸送機械		季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)				
2007年	109.3	0.3	99.3	1.2	137.8	12.5	118.0	6.3	91.9	7.4	108.3	0.3	113.2	1.1
2008年	103.6	5.3	97.9	1.4	138.6	0.6	78.2	33.8	94.4	2.7	101.0	6.8	124.5	10.0
2009年	80.3	22.5	95.7	2.2	103.7	25.2	49.0	37.3	71.2	24.6	79.2	21.6	112.2	9.9
2009.11	84.7	10.0	95.0	0.3	117.4	0.9	54.7	0.5	67.9	29.1	81.7	10.8	93.4	30.4
12	87.5	3.8	91.6	3.9	126.6	17.0	47.5	21.5	68.6	29.4	82.7	7.2	94.2	32.8
2010.1	98.3	15.3	100.5	2.0	144.7	57.8	48.1	24.9	79.5	1.5	94.6	9.2	96.1	31.7
2	97.7	26.0	94.6	1.3	127.4	66.0	64.3	20.5	87.6	10.1	94.2	19.5	97.2	27.8
3	91.2	27.6	92.4	3.4	121.7	57.0	97.2	53.3	94.4	25.5	91.0	24.0	91.9	22.2
4	95.9	22.7	92.9	1.3	121.9	15.4	117.8	201.5	93.3	31.2	94.8	23.2	94.6	19.6
5	91.0	17.8	90.0	4.2	112.3	11.2	76.6	151.8	84.8	12.8	86.0	12.6	90.3	23.2
6	98.6	25.4	98.6	0.8	112.7	4.8	55.2	21.6	77.5	9.5	93.2	18.8	92.1	18.0
7	95.3	17.7	92.4	6.7	117.1	5.0	103.6	110.9	71.2	2.0	87.7	10.6	96.7	11.8
8	102.8	29.4	98.9	6.1	114.2	8.0	101.5	158.9	83.9	13.5	97.8	26.2	96.7	9.5
9	107.9	31.1	97.7	3.0	108.6	2.9	110.9	117.4	77.3	21.1	97.5	21.3	99.5	3.0
10	90.0	9.5	93.1	6.5	105.6	5.3	102.7	118.5	73.1	9.2	86.4	8.1	107.3	11.0
11	88.2	5.4	89.1	4.7	97.0	15.8	91.5	70.9	74.8	12.3	85.0	5.5	102.6	9.8
12														
出所	熊本県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2005年 = 100)		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	合計		持家	貸家	分譲	熊本市		百万円	前年比 (%)
	前年比 (%)	前年比 (%)					戸	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	指数	前年比 (%)		
2007年	3.9	20.8	2,071	0.3	1,289	10.6	13,286	10.3	8.1	7.2	27.3	99.9	0.1	187,676	0.6
2008年	2.6	26.7	2,021	2.4	1,098	14.8	12,542	5.6	0.3	8.7	10.5	101.1	1.2	184,134	1.9
2009年	26.8	36.6	2,124	5.1	701	36.1	9,842	21.5	7.2	36.7	1.2	100.4	0.7	172,785	6.2
2009.11	34.8	29.9	167	45.3	65	20.5	897	22.9	14.2	41.9	27.4	100.3	1.1	13,738	8.4
12	250.5	46.9	159	6.5	65	20.3	898	13.0	22.0	0.0	38.4	100.1	1.0	19,193	7.2
2010.1	24.8	35.7	108	6.1	36	16.2	727	5.7	13.5	22.2	76.4	99.9	0.7	15,627	5.4
2	48.4	17.7	132	33.8	81	61.9	544	34.1	5.4	67.7	61.3	99.5	0.7	11,868	3.1
3	8.4	26.4	250	7.8	88	142.4	728	11.1	7.9	36.9	60.2	100.1	0.5	13,584	5.1
4	10.9	13.0	175	34.5	64	19.5	682	16.4	1.1	36.0	86.3	100.1	0.7	13,171	3.3
5	31.0	80.8	169	80.0	70	20.4	479	26.3	20.8	44.8	37.5	99.9	0.6	13,232	6.3
6	38.8	1.6	123	40.2	114	111.2	871	19.9	39.0	30.3	72.5	99.9	0.5	12,841	3.3
7	20.0	6.2	132	20.3	76	27.1	827	10.6	0.3	30.3	139.5	99.8	0.4	15,496	2.4
8	33.1	63.2	151	21.3	80	57.3	673	10.3	32.4	43.3	19.2	100.1	0.3	13,295	3.6
9	32.9	2.8	204	34.5	105	53.8	806	6.6	17.8	16.8	61.2	100.5	0.1	12,216	1.4
10	6.7	57.5	202	18.7	210	117.6	735	13.4	25.5	4.9	14.6	100.7	0.3	13,790	0.8
11	124.7	25.2	189	13.6	128	96.6	950	5.9	1.5	2.4	18.0	100.3	0.0	13,679	0.4
12	64.2	5.2	176	10.9	74	14.5	820	8.7	1.7	7.5	56.4	99.8	0.3	19,151	0.2
出所	門司税関		西日本建設業保証				国土交通省					総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)						有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				熊本市		貸金残高		
	台	前年比 (%)	台	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)			円	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円
2007年	32,225	5.7	27,998	0.4	431,614	10.6	297,580	4.6	0.82	139	9.4	47,976	1.7	28,666	4.0
2008年	31,184	3.2	28,287	1.0	394,696	8.6	308,050	3.5	0.63	179	28.8	48,615	1.3	29,535	3.0
2009年	32,853	5.4	25,999	8.1	394,898	0.1	312,070	1.3	0.38	127	29.1	49,790	2.4	29,669	0.5
2009.11	3,654	66.1	1,997	8.4	359,045	6.9	292,851	0.7	0.39	13	0.0	49,158	1.9	29,208	0.5
12	2,709	70.9	1,903	1.4	757,618	12.5	358,763	5.5	0.39	9	60.9	49,790	2.4	29,669	0.5
2010.1	3,019	52.4	2,143	3.8	382,934	17.3	361,197	5.5	0.41	11	26.7	49,298	2.2	29,409	0.0
2	3,662	56.9	2,617	5.2	400,065	20.6	296,130	20.5	0.41	8	14.3	49,529	2.3	29,362	0.1
3	5,164	47.2	3,335	0.2	362,760	11.0	338,228	11.7	0.42	14	27.3	49,582	3.3	29,618	0.4
4	2,445	40.0	1,993	12.1	373,611	12.1	340,349	4.8	0.43	12	140.0	50,377	2.3	29,189	0.1
5	2,734	49.9	2,021	13.7	315,019	1.9	303,005	4.7	0.45	3	62.5	50,432	2.1	29,300	0.2
6	3,321	23.6	2,197	7.5	464,148	15.2	294,584	10.5	0.46	9	55.0	50,680	2.0	29,355	0.7
7	4,295	34.1	2,388	12.8	415,618	6.2	295,460	3.2	0.47	6	40.0	50,521	3.4	29,460	0.7
8	3,727	62.4	2,145	18.4	313,164	1.6	280,424	1.1	0.48	7	0.0	50,061	2.2	29,485	1.0
9	3,667	3.0	2,492	8.3	309,948	9.2	277,500	15.9	0.48	11	57.1	50,099	2.8	29,830	1.3
10	2,236	28.6	1,845	5.6	356,869	10.1	245,425	23.8	0.50	17	13.3	50,309	2.2	29,684	0.8
11	2,068	43.4	1,728	13.5	279,339	22.2	252,466	13.8	0.52	10	23.1	50,263	2.2	29,699	1.7
12	1,730	36.1	1,743	8.4	551,356	27.2	280,449	21.8	0.54	6	33.3	50,857	2.1	30,270	2.0
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会				総務省			厚生労働省	東京商工リサーチ			日本銀行	

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。

経済指標 | 長崎県のデータ

項目 年月	紙工業生産指数 (2005年 = 100)										造船		機械等		電子部品 生産高	
	総合		一般機械		食料品		電子部品		輸送機械		生産高					
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	前年比 (%)	
2007年	134.0	11.4	103.5	13.8	104.9	4.4	228.6	36.3	98.7	2.1	2,166	15.5	3,079	11.0	3.0	
2008年	152.5	13.8	154.2	49.0	101.8	3.0	255.5	11.8	119.0	20.6	2,263	4.5	3,180	3.3	0.7	
2009年	125.9	17.4	123.0	20.2	101.0	0.7	190.3	25.5	110.8	6.9	2,131	5.8	2,484	21.9	18.7	
2009.11	129.8	2.3	105.1	22.9	95.8	3.5	214.5	19.1	100.7	17.0	162	4.4	186	41.1	2.6	
12	133.9	8.0	145.4	14.9	100.1	2.4	208.9	21.4	99.4	16.7	155	12.9	191	37.1	48.6	
2010.1	123.4	32.4	150.0	39.6	103.4	4.2	174.1	203.6	99.9	0.2	136	13.2	174	33.7	82.0	
2	130.9	67.6	158.7	58.9	109.4	14.8	197.4	1,038.1	101.7	14.7	149	8.8	147	31.5	13.5	
3	135.6	29.4	152.7	72.8	103.5	7.7	176.6	33.5	129.8	11.4	147	23.3	183	8.8	56.8	
4	138.1	47.1	265.1	233.6	103.2	0.7	193.1	177.8	49.1	59.6	154	23.7	294	46.7	49.5	
5	163.0	39.2	207.1	105.7	107.8	4.5	266.4	76.0	123.2	1.3	181	0.9	260	31.8	8.7	
6	147.1	10.5	194.7	70.8	104.0	0.6	216.3	39.1	110.6	5.5	190	2.6	280	35.6	22.2	
7	142.0	1.9	153.0	17.8	109.6	3.1	221.5	8.4	118.3	10.5	156	20.3	190	5.6	0.6	
8	150.9	5.6	216.1	22.5	108.8	4.4	225.4	2.3	107.1	0.0	160	6.7	256	48.6	6.1	
9	134.6	9.1	189.6	17.8	94.0	9.5	186.5	28.0	121.3	20.8	199	19.9	212	19.7	17.0	
10	148.6	1.4	244.7	53.7	105.7	0.8	218.9	11.0	106.0	0.3	155	18.3	188	31.8	7.8	
11	146.1	14.5	214.1	103.8	103.6	9.6	185.8	10.2	110.5	11.9	162	0.4	170	8.8	6.0	
12															20.1	
出所	長崎県統計課										三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業		日本銀行長崎支店			

項目 年月	貿易		漁業水揚げ金額		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				観光施設入場者数 (主要7施設合計)		消費者物価指数 (2005年 = 100)		
	輸出金額	輸入金額							合計		持家	貸家	分譲	長崎市			
	前年比 (%)	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	戸	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	千人	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
2007年	6.0	20.7	70,247	8.2	1,862	5.5	644	22.5	6,901	22.8	19.6	11.9	56.6	5,000	4.7	99.7	0.1
2008年	5.7	57.5	73,499	4.6	1,575	15.4	582	9.6	6,942	0.6	1.5	8.9	51.3	4,593	8.1	100.9	1.2
2009年	7.2	53.4	59,901	18.5	1,959	24.4	596	2.3	5,767	16.9	13.7	9.5	53.9	3,850	16.2	99.9	1.0
2009.11	46.6	12.8	5,031	16.8	100	17.2	37	49.3	652	5.8	19.7	85.6	95.0	308	21.0	99.3	1.7
12	59.8	36.5	6,257	16.7	120	15.2	36	22.0	668	19.3	1.8	3.6	268.6	262	16.7	99.0	1.9
2010.1	47.3	30.3	4,543	16.4	105	17.6	32	80.7	487	3.2	1.8	25.6	228.6	191	4.2	99.2	1.3
2	11.0	1.1	4,286	16.0	119	20.2	22	36.6	424	16.0	3.2	23.4	50.0	250	19.4	98.9	1.2
3	51.2	37.4	4,775	13.5	180	9.9	46	73.1	346	18.5	4.3	40.3	29.4	346	15.0	99.4	1.1
4	121.6	0.5	5,706	0.6	98	35.8	33	18.6	377	18.9	19.7	6.1	36.8	264	8.2	98.9	1.7
5	0.2	102.6	4,743	5.3	69	33.4	18	59.5	321	24.3	6.0	61.5	75.0	456	1.9	99.2	1.2
6	21.4	54.3	4,102	1.2	178	26.2	100	26.7	383	25.0	13.7	10.7	77.8	203	12.5	99.3	0.4
7	14.4	39.0	4,148	6.2	225	8.5	35	27.7	497	37.7	15.1	65.3	23.1	269	10.9	99.0	0.6
8	22.8	7.4	4,290	6.1	152	18.7	57	299.9	431	15.5	36.4	5.3	55.6	566	5.0	99.3	0.7
9	38.4	74.2	4,411	3.9	207	21.7	57	2.6	595	36.2	5.7	61.1	79.7	328	11.6	99.3	0.4
10	22.4	11.9	4,478	11.0	179	5.8	60	77.5	504	17.0	5.0	39.3	67.9	422	22.8	99.8	0.5
11	22.4	38.3	5,628	11.9	142	42.1	67	81.0	426	34.7	43.9	63.2	123.1	345	12.0	99.1	0.2
12	1.1	12.3	6,157	1.6	120	0.3	33	10.5	675	1.0	16.1	0.6	23.3	324	23.9	99.0	0.0
出所	門司税関		県内主要4魚市場		西日本建設業保証		国土交通省				長崎県観光振興推進本部		総務省				

項目 年月	大型小売店 販売額		乗用車				家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
			乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	百万円	前年比 (%)	台	前年比 (%)	台	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)			円	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円
2007年	130,307	2.7	20,714	8.6	23,506	5.4	364,655	4.6	315,656	13.3	0.62	148	18.4	40,923	1.5	24,456	2.1
2008年	124,827	4.2	20,245	2.3	23,250	1.1	364,276	0.1	296,622	6.0	0.57	178	20.3	40,931	0.0	23,693	3.1
2009年	117,941	5.5	20,921	3.3	21,725	6.6	388,129	6.5	308,588	4.0	0.41	122	31.5	41,579	1.6	22,992	3.0
2009.11	9,471	7.4	2,251	62.3	1,592	14.1	360,702	20.6	360,652	1.0	0.40	10	33.3	41,281	1.3	22,776	3.3
12	12,588	3.1	1,819	49.7	1,598	3.6	713,564	2.3	433,507	7.7	0.40	18	28.6	41,579	1.6	22,992	3.0
2010.1	10,358	7.9	1,904	54.0	1,815	2.1	352,323	18.8	310,666	0.3	0.42	9	10.0	41,280	1.6	22,896	4.5
2	8,161	5.3	2,174	53.7	1,982	0.6	362,887	3.0	258,798	4.4	0.42	6	0.0	41,501	1.0	22,851	5.2
3	9,295	1.4	3,172	39.3	2,923	0.4	339,673	0.8	351,004	10.3	0.41	6	0.0	41,663	2.1	23,055	4.5
4	9,310	1.5	1,599	41.4	1,548	4.2	362,238	2.8	302,685	7.8	0.43	3	78.6	42,002	1.2	22,601	2.8
5	9,470	1.7	1,662	27.1	1,633	7.0	321,220	1.4	278,715	2.0	0.44	4	66.7	41,851	1.5	22,908	3.6
6	9,174	0.5	2,043	16.3	1,846	3.8	725,431	32.9	289,322	1.0	0.47	11	8.3	42,333	0.2	22,784	1.7
7	11,205	2.0	2,505	26.6	1,881	0.3	487,041	28.5	288,326	6.0	0.48	7	0.0	42,041	0.9	22,905	1.5
8	9,834	0.1	2,376	65.9	1,763	18.3	402,176	29.5	345,957	26.7	0.47	3	72.7	41,782	0.2	22,847	1.7
9	8,674	2.3	2,298	0.7	1,910	2.5	395,981	30.4	275,226	6.0	0.49	7	40.0	41,631	1.5	22,774	0.8
10	9,270	2.9	1,358	32.2	1,429	14.0	434,352	19.7	349,749	31.6	0.51	3	72.7	41,651	0.8	22,746	0.8
11	9,668	2.1	1,345	40.2	1,325	16.8	372,805	3.4	296,364	17.8	0.50	4	60.0	41,658	0.9	22,572	0.9
12	12,701	0.9	1,220	32.9	1,316	17.6	822,568	15.3	391,787	9.6	0.51	9	50.0	42,018	1.1	22,815	0.8
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚げ金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パールリゾート、平戸城、ハウステンボス、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

貿易お役立ち情報

Useful Information

アジア展示会情報

イベント等は主催者側の都合により変更されることもあります。

北京

場 所	展 覧 会 名	期 間
中国国際展覧中心	第18回中国(北京)国際建築装飾及び材料博覧会	3月2日～3月5日
	中国北京国際供熱空調、水回り商品及び都市建設設備と技術展覧会	3月3日～3月5日
	第10回中国国際ドア業展覧会	3月9日～3月12日
	第55回全国自動車補修検定測定診断設備展覧会及び自動車用品展示会	3月16日～3月19日
	2011中国北京国際ギフト、贈品及び家庭用品(春)展覧会	
	2011第11回中国北京国際石油化学技術設備展覧会	3月22日～3月24日
	中国国際配管破裂防止自動化展覧会	
	2011中国国際テレビ放送情報ネットワーク展覧会	3月23日～3月25日
	中国北京国際照明展覧会及びLED照明技術応用展覧会	4月6日～4月8日
	2011年北京国際美容、美髪、化粧品及び洗剤博覧会	4月8日～4月10日
	2011年中国(北京)国際食品加工、包装機械及び包装製品展覧会	4月8日～4月10日
	第13回北京妊婦、赤ちゃん、幼児用品展覧会	4月14日～4月16日
	第18回中国北京国際石材商品及び石材技術設備展覧会	4月20日～4月23日
	第8回北京国際社会公共安全製品、技術設備展覧会	
	2011北京国際 The Internet of things 技術設備と応用展覧会	4月26日～4月28日
	2011第6回北京国際プール、SPA展覧会	
	2011中国ハイレベル寝室用品及び家庭用品展覧会	4月27日～4月29日
2011国際健康産業展覧会		
全国ブランド商品と対外輸出商品及び中国ネット商品交易会	5月7日～5月9日	
第5回中国国際新型壁材料、技術設備及び商品展覧会	5月12日～5月14日	
2011中国バラ積みセメント及びナマコン技術設備及び商品展覧会	5月12日～5月14日	
第20回中国国際専門の音響、照明、楽器及び技術展覧会	5月26日～5月29日	
全国農業展覧館	2011中国北京別荘用商品、階段及び木製品展覧会	3月1日～3月4日
	2011中国壁紙ブランド商品博覧会	3月8日～3月11日
	第6回北京家庭用装飾建材博覧会	3月18日～3月20日
	第10回中国国際テレビのビッグスクリーンシステム集成及び視聴商品展覧会	3月23日～3月25日
	2011中国新エネルギー産業博覧会	4月17日～4月19日
	2011中国国際芋類業界博覧会	4月20日～4月22日
	第2回北京国際現代農業展覧会	5月11日～5月13日
	第20回中国国際専門の音響、照明、楽器及び技術展覧会	5月26日～5月29日

蘇州

場 所	展 覧 会 名	期 間
蘇州国際博覧センター	蘇州婚嫁文化産業博覧会	3月4日～3月6日
	第8回蘇州国際工作機械及び工具展覧会	
	第4回蘇州国際ダイカスト工業展覧会	
	第6回中国蘇州国際電気鍍金、塗装表面処理展覧会	3月10日～3月12日
	第4回中国蘇州塗料工業展覧会	
	2011蘇州国際省エネ環境保護技術、設備展覧会	
	2011華東国際省エネエレベーター及び機械部品展覧会	3月23日～3月25日
	第五回蘇州ファームウェア交易展	4月8日～4月9日
	2011春夏ブランドファッション&アクセサリー(蘇州)博覧会	4月9日～4月18日
	2011中国蘇州化学工業展覧会	4月14日～4月16日
	中国国際旅行服飾コンクール・展示会	4月22日～4月24日
	2011蘇州国際ホテル用品展覧会	
	蘇州住宅産業博覧会	5月1日～5月4日
	2011蘇州プリント基板(PCB)展覧会	5月11日～5月13日
	2011蘇州表面実装(SMT)展覧会	
学生用品展	5月19日～5月21日	
教育展		

場 所	展 覧 会 名	期 間
蘇州国際博覧センター	2011中国(蘇州)国際中小企業交易会	
	中国(蘇州)国際商務及び会議・奨励旅行(MICE)交易会	5月20日～5月22日
	第1回幼児・児童育成用品展	
	2011蘇州国際家具展覧会	6月3日～6月6日
	上花(蘇州)2011年春季約具展	6月10日～6月12日
	中国国際物流科学技術博覧会	6月16日～6月17日
	蘇州事務家具、木工機械及び補助原材料展	6月23日～6月26日

上海

場 所	展 覧 会 名	期 間
上海新国際博覧中心	中国華東輸出入商品交易会	3月1日～3月4日
	第11回中国国際林業、木工機械展	3月1日～3月5日
	第18回中国国際金物博覧会	
	2011上海国際服装紡績品貿易博覧会	3月9日～3月11日
	第93回中国ニット製品交易会/第23回中国シルク交易会	
	ミュンヘン上海電子展	
	ミュンヘン上海レーザー&フォトニクス展	3月15日～3月17日
	SEMICON CHINA2011	
	第20回中国国際電子回路展覧会	
	2011中国家電博覧会	3月15日～3月18日
	第13回中国国際フロア材料及び舗装技術展覧会	
	2011中国耐久建築国際大会/第9回上海国際庭園・景観設計及び都市建築展覧会	3月22日～3月24日
	中国国際遮光&省エネ技術博覧会/中国国際門扉及びブラインド・シャッター展覧会	
	第17回中国国際建築、資材展覧会/屋根、壁、フロア材料及び門扉、カーテンウォール展覧会	
	第17回中国国際建築資材科学技術製品展覧会&第9回中国国際セラミック及びサニタリー製品展覧会	3月29日～4月1日
	第18回上海国際ホテル用品博覧会	
	第11回中国クリーン技術設備博覧会	
	2011中国国際屋根瓦展	4月6日～4月9日
	中国国際冷凍展	4月7日～4月10日
	2011上海国際風力エネルギー展覧会	4月8日～4月10日
	上海国際モーターショー	4月19日～4月28日
	中国国際自転車展覧会/中国国際電動式自転車展覧会	5月4日～5月7日
	第11回中国国際電力電気工設備・技術展覧会	
	中国国際環境保護、廃棄物及びリサイクル展覧会/2011中国国際給排水処理展覧会	5月5日～5月7日
	第10回中国(上海)国際動力設備及び発電機展覧会	5月11日～5月13日
	中国国際ペーカリー展覧会	
	中国国際ガラス工業技術展覧会	5月11日～5月14日
	中国国際美容化粧品洗浄用品博覧会	
	第12回中国国際食品・飲料展/第11回上海国際包装・食品加工展覧会	5月18日～5月20日
	中国国際建築貿易博覧会	5月25日～5月28日
中国(上海)国際家具展覧会及び上海国際インテリア展示会	6月2日～6月4日	
中国国際鋳造、鋳造設備展覧会及び関連工業展覧会	6月2日～6月5日	
第16回北京・エッセン溶接切断展覧会		
2011第10回中国(上海)国際紡績品及び生地博覧会	6月9日～6月11日	
2011上海国際紡績工業展	6月14日～6月17日	
第15回国際工業自動化及び制御技術展覧会/第15回中国国際センサー感度及び測量展覧会	6月15日～6月17日	
上海国際ジュエリー・アクセサリー展覧会	6月16日～6月19日	
第11回世界製菓原材料中国展覧会		
第13回アジア食品配合料、天然原料、健康原料中国展/2011栄養保健食品中国展	6月21日～6月23日	
中国文化用品商品交易会		
上海国際工作機械展覧会/韓国機械展	6月28日～7月1日	

貿易お役立ち情報

Useful Information

場 所	展 覧 会 名	期 間	
上海世貿商城 (上海マート)	2011中国上海ポンプ及び付属設備展覧会	3月2日～3月4日	
	NOVO(上海)国際ブランド服装展覧会	3月9日～3月11日	
	2011年中国(上海)国際贈答品・家庭用品展覧会(春季)	3月16日～3月18日	
	中国国際教育展覧会	3月19日～3月20日	
	中国国際食品添加物・原料展覧会及び中国全国食品添加物製造応用技術展示会	3月23日～3月25日	
	2011第2回上海印刷工業展覧会	3月28日～3月30日	
	2011中国国際家庭用紡績品及び補助原料(春夏)博覧会		
	中国(上海)国際奨励旅行及び大会博覧会	4月14日～4月15日	
	2011(春季)上海紡績服装展覧会	4月20日～4月22日	
	中国国際染料工業及び有機顔料、紡績化学品展覧会	4月26日～4月28日	
	欧州高級家具展示即売会	5月6日～5月15日	
	2011第6回上海国際幼児教育展	5月20日～5月22日	
	2011上海国際自動車内装及び外装展覧会	6月8日～6月10日	
	2011中国国際セルフサービス商品及び自動販売システム展覧会	6月22日～6月24日	
	上海光大会展中心	2011中国(上海)国際靴下仕入れ交易会	3月1日～3月3日
		2011第2回中国上海国際教育技術装備及び高等職業技術教育器械展覧会	3月10日～3月12日
		第3回上海家博覧会	3月11日～3月13日
		第12回中国国際農業用化学品及び植物保護展覧会	3月16日～3月18日
		第15回中国国際食品添加物及び原料展覧会	3月23日～3月25日
		2011第14回中国(上海)美容美髪化粧品博覧会	3月28日～3月30日
第12回中国(上海)広告シルクスクリーン印刷展覧会/2011中国(上海)LED展覧会		3月29日～3月31日	
2011中国(上海)乳児食品博覧会		4月2日～4月4日	
2011第2回上海ワクチン、抗体展覧会及びシンポジウム			
第2回上海国際表面工程展覧会及び第3回上海国際琺瑯工業展覧会		4月7日～4月9日	
第3回上海国際磨耗材料技術展覧会及び第3回上海国際特殊セラミックス展覧会			
第2回上海国際砕機械及び鉱業装備展覧会		4月8日～4月10日	
第11回中国国際眼科技術設備展覧会			
2011第10回中国国際電機博覧会及び発展フォーラム		4月12日～4月14日	
2011第2回上海国際知能送電網展覧会			
2011上海国際電気自動車及び充電設備展覧会		4月17日～4月19日	
第82回中国国際労働保護用品交易会			
2011中国国際食用油及びオリブオイル展覧会		4月18日～4月20日	
中国国際計器展覧会			
2011中国(上海)国際粉末冶金・セラミック工業展覧会及びフォーラム		4月22日～4月24日	
第12回磁性材料及び応用展覧会			
2011第3回中国トマトケチャップ・ジャム産業博覧会		4月27日～4月29日	
2011第4回中国高級ボトルウォーター、高級茶経営販売大会及び調達交易会			
第12回表面活性剤及び洗浄剤展覧会			
上海大豆加工技術及び設備展覧会			
上海精製品及び天然色素展			
上海国際衛生設備、食品製薬科学技術、工業攪拌混合設備展覧会		5月5日～5月7日	
第8回中国国際タイヤ資源循環利用展覧会			
中国国際新エネルギー博覧会及びアジア太陽光発電工業博覧会		5月11日～5月13日	
第13回中国国際電子生産設備及び電子工業展覧会			
2011第8回上海国際カバン革製品展覧会		5月17日～5月19日	
2011第8回上海靴類展覧会			
2011第8回上海国際革、合成革、レザークロス展覧会			
2011上海産業用紡績品、非織物展覧会			
2011第5回上海レジ袋・包装袋展覧会			
2011第9回上海家庭生活用品、インテリア、ギフト、工芸品展覧会		5月21日～5月23日	
2011上海第2回商業不動産展覧会			
2011中国(上海)国際セーター博覧会		5月21日～5月23日	
2011中国(上海)国際アパレルOEM加工博覧会			
2011エコ住宅博覧会及び第3回現代住居環境展覧会		5月26日～5月28日	
2011第6回上海国際澱粉及び澱粉誘導体新技術新設備展覧会			
上海国際芸術品・骨董博覧会	5月26日～5月29日		
2011上海春季芸術陶磁器展覧会			
2011第6回中国上海ペット用品博覧会(同時開催2011CKU全犬展)			
第99回中国靴・皮製商品博覧会	6月1日～6月3日		

場 所	展 覧 会 名	期 間
上海光大会展中心	2011上海国際エレベーター及び設備展覧会	6月6日～6月8日
	2011上海国際鋼板、管、アルミニウム、ワイヤーロープ展覧会	
	第6回上海国際機関室、工業電気器具、光ファイバー通信総合配線及びデータセンター技術設備展覧会	6月7日～6月9日
	2011上海ファームウェア専門展及び第2回上海自動車ファームウェア展	6月16日～6月18日
	2011第9回上海医療器械展覧会	6月27日～6月29日
	2011第12回上海身障者、高齢者介護リハビリ用品展覧会	
	2011上海臨床検査設備用品展覧会	
	2011上海口腔清潔設備展覧会	
	2011第9回上海家庭用医療用品展覧会	3月6日～3月8日
	中国(上海)第16回国際玩具展覧会及び上海玩具第47回博覧会	
	第8回中国国際成人保健及び生殖健康展覧会	
	2011上海ペット大会	
	第15回中国国際食品添加物・原料展覧会及び第21回全国食品添加物生産応用技術展示会	
	第6回国際粘着テープ、保護フィルム、光学フィルム(上海)展覧会/第4回国際フィルム(上海)展覧会	
	2011国際表面工程展覧会	
第3回上海国際摩擦密封材料及び工業セラミックス展覧会		
鉱山装備展覧会		
第13回中国国際草花園芸展覧会		
第11回中国国際染料・顔料・紡績化学品展覧会		
2011上海国際室内暖房・換気・浄化製品展覧会		
上海国際光源&新エネルギー源照明展覧会		
2011中国(上海)国際障害者、高齢者介護リハビリ技術及び補助器具展覧会		
2011中国(上海)国際茶業博覧会		
2011中国国際有機食品博覧会		
2011第6回上海酒類商品交易博覧会		
2011上海建築給排水処理技術・設備展覧会		
2011中国(上海)国際大型機械装備展覧会		
2011上海塗料原材料展		
2011第3回上海国際デジタルラベル及びタッチパネル技術展覧会		
2011上海マルチメディア情報技術及び仮想シミュレーション製品展覧会及び大画面プロジェクト、テレビ会議システム製品展覧会		

香港・マカオ

場 所	展 覧 会 名	期 間	
Hong Kong Convention & Exhibition Centre	ファッションアクセス	3月30日～4月1日	
	APLF 材料・製造技術展示会(皮革・ファッション関連)		
	香港エレクトロニクスフェア	4月13日～4月16日	
	香港国際照明関連フェア	4月20日～4月23日	
	香港国際ホームテキスタイルフェア		
	HKTDC 香港ハウスウェアフェア e Fair	4月27日～4月30日	
	HKTDC 香港ギフト・プレミアムフェア	5月11日～5月14日	
	HOFEX2011 第14回フード関連フェア	5月26日～5月29日	
	香港国際アートフェア	6月3日～6月5日	
	第2回香港国際デンタルエキスポ	6月4日～6月6日	
	第63回婚嫁関連エキスポ 2011	6月9日～6月12日	
	第25回国際トラベルエキスポ	6月21日～6月24日	
	アジアファッション・ジュエリー・アクセサリーフェア	6月23日～6月26日	
	香港ジュエリー・宝飾品フェア 2011	4月12日～4月15日	
	チャイナソーシングフェア(エレクトロニクス・コンポーネント)		
チャイナソーシングフェア(セキュリティ関連商品)			
チャイナソーシングフェア(太陽光エネルギー蓄積関連商品)			
韓国ソーシングフェア(エレクトロニクス・コンポーネント)			
チャイナソーシングフェア(乳幼児関連商品)			
チャイナソーシングフェア(ホームプロダクト関連)			
チャイナソーシングフェア(医療関連商品)			
チャイナソーシングフェア(ギフト関連)			
インドソーシングフェア(ホームプロダクト関連)			
AsiaWorld-Expo	チャイナソーシングフェア(エレクトロニクス・コンポーネント)		4月12日～4月15日
	チャイナソーシングフェア(セキュリティ関連商品)		
	チャイナソーシングフェア(太陽光エネルギー蓄積関連商品)		4月20日～4月23日
	韓国ソーシングフェア(エレクトロニクス・コンポーネント)		
	チャイナソーシングフェア(乳幼児関連商品)		4月20日～4月23日
	チャイナソーシングフェア(ホームプロダクト関連)		
	チャイナソーシングフェア(医療関連商品)		
	チャイナソーシングフェア(ギフト関連)	4月20日～4月23日	
	インドソーシングフェア(ホームプロダクト関連)		
	チャイナソーシングフェア(ギフト関連)		

貿易お役立ち情報

Useful Information

場 所	展 覧 会 名	期 間
AsiaWorld-Expo	チャイナソーシングフェア(ファッションアクセサリー関連)	4月27日～4月30日
	チャイナソーシングフェア(衣料関連)	
	チャイナソーシングフェア(アンダーウェア・水着関連)	
	香港国際印刷・包装関連フェア	
ベネチアン マカオ	2011年 マカオ国際環境協力展示会	3月31日～4月2日
	リアルエステートフェア 2011	4月8日～4月10日
	マカオ国際印刷・材料関連展示会	5月13日～5月14日
	世界ゲームエキスポ アジア	6月7日～6月9日

深セン

場 所	展 覧 会 名	期 間
深セン会議展覧中心 (Shenzhen Convention & Exhibition Centre)	2011年 深セン国際都市鉄道輸送技術・機器展示会	4月3日～4月5日
	第9回中国国際原子力産業展示会 2011	4月6日～4月8日
	2011年 中国(深セン)国際エレクトロニクスフェア	4月8日～4月10日
	第65回中国国際医療機器フェア	4月16日～4月19日
	第19回中国(深セン)国際ギフト・ハードクラフト・ウォッチ・ハウスウェアフェア	4月24日～4月27日
	第14回中国(深セン)国際ブランドショッピングフェスティバル	4月30日～5月5日
	第1回深セン幼児・子供教育フェア&子供向け商品フェア	5月1日～5月3日
	2011年 深セン(春)リアルエステートフェア	5月1日～5月5日
	2011年 中国(深セン)国際家庭用装飾品フェア	5月6日～5月8日
	第9回中国(深セン)国際携帯電話技術展示会	5月20日～5月21日
	中国フード・ケータリングフェア 2011	5月20日～5月22日
	2011年 中国国際アンダーウェア展示会	5月21日～5月23日
	2011年 国際(深セン)メタル鋳造ショー	5月25日～5月27日
	中国(深セン)国際物流機器・技術関連展示会	5月25日～5月27日
	2011年 中国(深セン)薄板金属産業エキスポ	5月26日～5月28日
	2011年 深セン・香港・マカオ国際自動車ショー	6月2日～6月7日
	2011年 アジア太平洋国際オフショア石油・ガス展示会	6月14日～6月16日
	2011年 アジア太平洋国際石油化学技術・器具関連展示会	6月14日～6月16日
	2011年 エレクトロニクス機器・コンポーネント・光通信関連展示会	6月23日～6月25日
	2011年 ラベル印刷関連展示会	6月23日～6月25日
	第13回華南国際水展示会	6月29日～7月1日

広州

場 所	展 覧 会 名	期 間
広州中国輸出商品取引会 琶洲展覧館 (China Import & Export Fair (Pazhou) Complex)	第109回中国輸出入フェア(Phase One)	4月15日～4月19日
	第109回中国輸出入フェア(Phase Two)	4月23日～4月27日
	第109回中国輸出入フェア(Phase Three)	5月1日～5月5日
	第9回広州国際表面加工・メッキ・コーティング展示会	5月11日～5月13日
	第9回広州国際コーティング・プリンティング・接着剤関連展示会	5月11日～5月13日
	2011年 広州国際顔料展示会	5月11日～5月13日
	第5回中国国際メタル産業トレードフェア	5月12日～5月14日
	第25回プラスチック・ラバー産業国際展示会	5月17日～5月20日
	第6回広州国際ワイン展示会&世界有名ワインエキスポ	5月25日～5月27日
	2011年 広州国際機械機器・鋳物展示会	5月26日～5月28日
	2011年 広州国際自動製造技術・機械フェア	5月26日～5月28日
	第15回中国ベーカーリー展示会 2011	6月1日～6月3日
	第21回広州靴・皮革産業国際展示会	6月1日～6月3日
	2011年 中国(広州)フード機械・包装展示会	6月2日～6月4日
	中国(広州)国際エネルギー展示会 2011	6月9日～6月11日
	第16回広州国際照明展示会	6月9日～6月12日
	2011年 第2回広州国際ギフト・クラフト・ホームプロダクト・家電エキスポ	6月17日～6月19日
	2011年 第2回広州国際アートフェア&アンティーク家具エキスポ	6月17日～6月19日
	広州国際物流機器・技術展示会 2011	6月22日～6月24日
	第7回広州国際ブランドフォークリフト・部品関連展示会	6月22日～6月24日
第12回広州国際金属・冶金展示会	6月23日～6月25日	
保利世貿博覧館 (Poly World Trade Expo Centre)	第2回広州国際ペーパープロダクトフェア	4月8日～4月10日
	第23回広州国際玩具・ホビーフェア	4月8日～4月10日
	広州ヒートポンプ・コンポーネントエキスポ 2011	5月10日～5月12日

場 所	展 覧 会 名	期 間
保利世貿博覧館 (Poly World Trade Expo Centre)	2011年 広州国際ハードウェア産業エキスポ	5月16日～5月18日
	2011年 広州非金属産業エキスポ(アルミ・銅・マグネシウム・チタン)	
	2011年 広州国際潤滑油・関連技術機器展示会	6月9日～6月11日
	第9回中国(広州)国際自動車アクセサリ関連エキスポ	
	第2回家具デザインエキスポ 2011	6月15日～6月17日
	家具製造用材料・アクセサリ関連トレードフェア	
	第7回国際メッキ・表面処理加工発展展示会	6月22日～6月24日

バンコク

場 所	展 覧 会 名	期 間	
バンコク国際貿易展示センター (Bangkok International Trade & Exhibition Centre)	バンコク国際ギフトフェア&バンコク国際ハウスウェアフェア 2011	4月19日～4月24日	
	2011 ハイテク機械展示会	5月12日～5月15日	
	2011産業オートメーションショー		
	2011国際特殊機器・機会展示会		
	2011アジア国際薄板金属製造技術・機械展示会		
	タイ特殊物流・材料運搬関連ショー		
	タイ 機械器具・金属切断関連機器展示会 2011		
	タイ 溶接技術関連ショー 2011		
	2011年国際自動車デザイン・製造・工学展示会	6月1日～6月4日	
	第20回環境保護・汚染管理技術国際展示会		
	アジア再生エネルギー技術展示会 2011	6月15日～6月18日	
	第19回包装・梱包処理技術展示会		
	第10回国際飲料・醸造処理・包装技術展示会		
	第18回国際薬剤・コスメ関連包装処理技術展示会		
	第16回国際シーフード包装処理関連技術展示会		
	第8回国際プラスチック包装技術・材料関連展示会		
	第17回国際製缶・缶詰技術展示会		
	第20回タイ国際プラスチック・ラバー技術展示会	6月23日～6月26日	
	第19回タイ鋳物・金型製造関連機械・技術展示会		
	第8回タイ自動車部品製造関連機械展示会		
	第12回国際自動製造・組立技術展示会		
	2011年国際産業エネルギー・環境管理技術展示会		
	2011年国際家具製造機械・アクセサリ・技術関連展示会	4月23日～5月1日	
	Queen Sirikit National Convention Centre		家具・装飾アイテム展示会
	ITテクノロジー・商品フェア		5月19日～5月22日
	Impact Exhibition & Convention Centre	タイ ペットエキスポ 2011	6月2日～6月5日
		家具ショー 2011	4月2日～4月10日
ファッション&ジュエリーショー 2011			
バンコク国際ファッションショー&バンコク国際皮革ショー 2011		4月20日～4月24日	
家具フェア		5月14日～5月22日	
ファッション・ジュエリー・フードフェア			
ビューティ・スパ・健康関連フェア			

ホーチミン・ハノイ

場 所	展 覧 会 名	期 間
Ho Chi Minh City Int'l Exhibition & Convention Centre	ベトナム サイゴン 織物・衣服・アクセサリエキスポ	4月8日～4月11日
	ベトナム サイゴン 織物・衣服産業エキスポ	
Saigon Exhibition & Convention Centre	科学実験関連器具展示会 2011	4月7日～4月9日
	第14回 コスメ・ビューティ・ヘア・スバ国際展示会	4月21日～4月23日
	第19回国際産業機械展示会	5月10日～5月13日
	ベトナム建築関連エキスポ 2011	6月2日～6月5日
	サイゴン国際自動車機器・アクセサリ・関連器具展示会 2011	6月9日～6月12日
	ベトナム水産関連国際展示会 2011	6月28日～6月30日
	ベトナム ハウスウェア・家庭用機器・家庭用消耗品関連展示会	4月6日～4月9日
Vietnam Exhibition & Fair Centre, Giang Vo, Hanoi	ベトナム国際機械機器・オートメーション産業展示会V	4月19日～4月22日
	ベトナム国際包装・印刷産業展示会	
	2011年 第7回ベトナム・ハノイ国際食品処理・薬剤製造産業展示会	
	2011年 第7回ベトナム国際プラスチック・ラバー産業展示会	
	ベトナム国際自動車サポーター産業展示会	
ベトナム国際自動車サポーター産業展示会	6月22日～6月25日	

海外に
行かれる
皆さまへ

FFG ふくおかフィナンシャルグループでは、
世界の主要通貨を取りそろえ、
お客さまのご要望に
お応えします。

外貨両替は 「ふくおかフィナンシャルグループ」で!

主なお取り扱い通貨一覧



米ドル



ユーロ



オーストラリアドル



イギリスポンド



香港ドル



シンガポールドル



カナダドル



ニュージーランドドル



スイスフラン



タイバーツ



中国人民幣



韓国ウォン



ニュー台湾ドル

- 外貨両替の際に適用される為替相場には各行所定の手数料が含まれます。(例:米ドル両替 1ドルあたり3円)
- 硬貨(コイン)は外貨両替の対象外となりますので、お取扱いはしていません。
- 200万円相当額を超える両替の場合、ご本人確認資料(パスポート、運転免許証等)のご提示が必要となります。
- お取り扱い通貨の種類は店舗により異なります。
- くわしくは各行の窓口へお問合せください。

2011年2月1日現在

事業資金の調達をお考えの皆さまへ

地元企業の明るい未来のために
私たちがサポートします。

FFG次世代 創造プログラムの ご案内



ふくおかフィナンシャルグループは、日本銀行の資金供給の枠組みを活用し、地域経済の成長基盤強化に向け、地元企業への融資に積極的に取り組みます。

ご融資
金額

1億円以上（福岡銀行）

3千万円以上（熊本ファミリー銀行
親和銀行）

なお、各県信用保証協会保証を活用した1千万円以上のプログラムを三行ともに別途ご用意しております。

ご融資
期間

1年以上

10年以内（原則）

ご利用いただける方

事業者（法人および個人事業主）の方で、以下の成長分野において成長基盤強化に資する事業を行う方

資金使途

日本銀行が定める成長基盤強化に資するもの

成長分野※

研究開発、起業、社会インフラ整備・高度化、環境・エネルギー事業、医療・介護・健康関連産業、高齢者向け事業、観光事業、地域再生・都市再生事業、農林水産業・農商工連携事業、保育・育児事業、その他成長基盤強化に資する事業

ご融資金利

審査結果に応じた各銀行の所定金利

ご返済方法

原則元金均等返済

※対象となる成長分野の詳細は右記をご参照ください。

あなたのいちばんに。

FFG次世代創造プログラムの概要



成長分野	資金使途（事例）
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ●環境・エネルギー分野、自動車、ロボット、半導体、バイオテクノロジー、新素材、新食品・食材、農業法人等の研究開発に関する事業 ●産・学・官連携による上記事業のリサーチ、開発に関する事業
起業	<ul style="list-style-type: none"> ●環境・エネルギー分野、自動車、ロボット、半導体等の科学・技術力を核とするベンチャー創設および農業法人、地域再生・社会的企業化（ソーシャルビジネス）の起業、黎明期の事業
社会インフラ整備・高度化	<ul style="list-style-type: none"> ●道路・鉄道・空港・港湾・物流施設、通信網の拡大に資する事業 ●インフラシステム（原子力・上下水道・鉄道他）の輸出に関する事業 ●ゼロエネルギー・ビルディング等環境に配慮した建物の供給促進に関する事業 ●長期優良住宅（いわゆる100年住宅）に関する事業
環境・エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> ●蓄電池や次世代自動車、火力発電所の効率化に関する事業 ●情報通信システムの低消費電力化に関する事業 ●省エネ機器の製造事業 ●太陽光・風力・水力・バイオマス（生物由来の有機性資源）・地熱等の普及に資する事業 ●排出権関連ビジネス等、低炭素化に資する事業 ●LED（発光ダイオード）、有機EL（有機発光ダイオード）などの次世代照明に関する事業 ●リサイクルの推進による国内資源の循環に関する事業 ●グリーンイノベーション（環境エネルギー分野革新）に関する事業 ●スマートグリッド（人工知能を搭載した計測機器等を設置して電力供給を自動的に調整可能とする電力網）に関する事業
医療・介護・健康関連産業	<ul style="list-style-type: none"> ●病院、診療所、介護施設の増改築（アメニティ向上・耐震など）・新設に関する事業 ●医療機器、介護機器の新設・導入に関する事業 ●検診事業（定期健康診断・人間ドック）の新設、設備の導入に関する事業
高齢者向け事業	<ul style="list-style-type: none"> ●有料老人ホームの増改築・新設に関する事業 ●バリアフリー住宅の供給促進に関する事業 ●高齢者向けサービス（配食、生存確認<見守サービス>など）に関する事業
観光事業	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテル・旅館・テーマパークの改修、新設・観光名所の整備などに関する事業 ●観光事業・観光資源に関する事業
地域再生・都市再生事業	<ul style="list-style-type: none"> ●特区制度、PFI（民間資金を活用した公共施設・サービス提供）、PPP（官民協調）の活用に関する事業 ●駅前再開発、商業施設、商店街の再生事業及び区画整理事業、観光地事業再生
農林水産業・農商工連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ●農林水産業（生産者・加工業者・流通業者）および農商工連携に関する事業 ●異業種からの農業参入に関する事業
保育・育児事業	<ul style="list-style-type: none"> ●幼保一体化（保育所と幼稚園の両方の機能を備える「認定こども園」を整備する取組）に関する事業 ●育児休業取得先進企業の設備対応（事業所内保育施設など）に関する事業

平成22年9月6日現在

詳しくは各銀行までご相談ください。

ふくぎん×にしてつから
生まれた新カードです。



バスにも電車にも乗れるarecoreです。
キャッシュカードにも使えるnimocaです。

ひとつに
なった!

arecore nimoca

キャッシュカードにも、クレジットカードにも、ローンカードにも使えるarecoreに、IC乗車券(バス、電車)にも、電子マネーにも使えるnimocaの機能がプラスされました。その名も、arecore nimoca。皆さまの暮らしを、ますますこれ1枚にする便利なカードの誕生です。

あなたのいちばんに。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

バス・電車をご利用する機会が多い方なら、arecore nimocaです。

キャッシュ
カード
として

「引出す・預ける・振込む」のキャッシュカード機能

コンビニで平日24時まで、現金のお引出しOK!
※ご利用のATM、時間帯等によっては所定の手数料が必要です。



ふくぎんATM時間外手数料・コンビニATM利用手数料が1年間無料!!

(カード発行日の翌月15日から適用されます。)

- ※但し、振込手数料は別途必要になります。
- ※共同サービスコーナーによっては、対象外となる場合があります。
- ※対象となるコンビニATMは、 E-net 銀行および E-net マークのあるコンビニATMに限ります。
- ※1年以内にアレコレnimocaカードを解約された場合、それ以後手数料が必要となることがあります。
- ※ふくぎんポイントクラブ「マイバンク」でのサービス提供となります。
「マイバンク」の詳細は、ふくぎんホームページまたは店頭の特ラシをご覧ください。

2年目以降も、アレコレnimocaカードのご継続に加え、例えば以下のお取引で上記特典が引き続き受けられます。
例) 給与振込のご指定またはダイレクトバンキング会員のご契約

クレジット
カード
として

- 世界中の加盟店でクレジットカードとしてショッピングにお使いいただけます。
- 携帯電話、プロバイダー料金、保険料など、毎月のお支払いにも。

クレジットカード年会費が1年間無料!!

2年目以降は、アレコレnimocaカードでの前年の年間ショッピングご利用額が10万円以上または携帯電話料金・ガス料金(西部ガス)・電気料金(九州電力)のいずれかのクレジットカード決済により年会費が無料になります。
※詳しくは、店頭またはホームページにてご確認ください。

ローン
カード
として

arecore nimocaは2つのローン機能付き。いざという時にも慌てることなく安心!!

※ご利用の際は、お利息がかかります。※65歳以上の方は、本サービスはご利用になれません。
※詳しくは、店頭またはホームページの説明書にてご確認ください。

アレコレ
プラスワン
サービス

- 口座振替やお引出し時に、口座残高が0円でも10万円までお立て替えいたします。
 - ご返済は、口座へのご入金でOK!!お利息はお立て替えした日数分だけです。
- ※審査の結果によってはプラスワンサービスをご利用いただけない場合があります。

アレコレ
カードローン
サービス

- ご利用残高に応じて、毎月のご返済額も一定なので安心です。
 - 毎月のご返済に加え、余裕のあるときにはふくぎんのATMでいつでもご返済可能です。
- ※ご融資限度額は、審査のうえ当行で決定させていただきます。

nimocaの便利さが、すべてプラスされました。

入金(チャージ)しておけば、タッチするだけの簡単自動精算。バスや電車の乗り降りやお買いものにも便利でスピーディです。

IC乗車券
として

西鉄のバス・電車はもちろん、JR九州、福岡市地下鉄、Suicaエリアでもご利用いただけます。

◎西鉄バス、西鉄電車、昭和バスでのご利用はポイントがつかます。◎定期券としてもご利用いただけます。

電子マネー
として

nimoca加盟店をはじめ、右記のマークの付いているお店でご利用いただけます。
◎nimoca加盟店での利用のみポイントが付きます。
※一部ポイントがつかない店舗もあります。



■お申込み条件

20歳以上で安定継続収入のある方。 ※専業主婦・学生の方はお申込みいただけず。

■年会費のご案内(税込)

クラシックカードの年会費は初年度1年間無料です。
2年目以降は、アレコレnimocaカードでの前年の年間ショッピングご利用額が10万円以上または携帯電話料金・ガス料金(西部ガス)・電気料金(九州電力)のいずれかのクレジットカード決済により年会費が無料になります。

	本会員	「マイ・ベイすりポ」の登録をした場合※3
クラシック	1,312円(初年度無料)	下記※2を条件に本会員は無料
クラシック(学生)	無 料 ※1	無 料

※1 クラシック(学生)カードの年会費無料適用期間は、卒業予定年度までです。
(以降はクラシック一般カードに準じます。)

※2 「マイ・ベイすりポ」の登録をした場合、クラシックカードは、前回の年会費引落日の前月16日から次回の年会費引落日の前月15日までに、ショッピングのご利用(ETCの利用含む)があれば、次回の年会費は無料となります。その後も1年毎に同様のお取扱いとなります。

※3 「マイ・ベイすりポ」とは、ショッピングの一括払いを原則「リボ払い」とする登録サービスです。

《必ずお読みください》

- 福岡銀行所定の審査がございます。審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- アレコレカード、キャッシュカード一体型クレジットカードとの重複契約はできません。(アレコレnimocaカードのご入会に際しては、アレコレカード、キャッシュカード一体型クレジットカードの解約が必要です。)
- お申込み内容やお勤め先での在籍を確認するため、ご自宅およびお勤め先にそれぞれお電話をさせていただく場合がございますのでご了承ください。
- 商品・サービスの内容は、今後の情勢等により変更させていただく場合がございます。
- 審査の結果、アレコレnimocaカードの発行ができない場合は、生体認証ICキャッシュカードをお送りさせていただきます。(キャッシュカードをお持ちでない方のみ)
- キャッシュカードをお持ちのお客様で、アレコレnimocaカードにご入会されたお客様は、ご自宅にアレコレnimocaカードが届きましたら現在お使いのキャッシュカードにハサミを入れてご処分いただきますようお願い申し上げます。(旧キャッシュカードにつきましては、アレコレnimocaカードが発行された月の翌月末日以降ご利用いただけなくなります。ただし、前述の日以前にアレコレnimocaカードのキャッシュカード機能をご利用された場合は、その日以降ご利用できなくなります。)

アレコレnimocaカードに関するお問い合わせは…

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ

☞ローン・アレコレ

メニュー 1 お申込み 2 ご相談・お問合せ
[受付時間] 平日9:00~20:00
但し、銀行休業日は除きます。

☎0120-788-324

携帯・PHSからもご利用OK!



ふくぎんホームページアドレス <http://www.fukuokabank.co.jp>

平成23年1月7日現在



ふくぎんお客様セミナーのご案内

福岡会場：福岡銀行 本店ビル4階 セミナールーム
北九州会場：福銀小倉ビル5階 セミナールーム

3月のセミナー情報

参加費無料
(ただし、一部有料セミナーもごさいます)

事前予約可

各セミナーの所要時間は1時間～1時間30分を予定しております。
お申込みは、電話または福岡銀行ホームページにて承ります。
各セミナーについては定員になり次第、受付を終了させていただきます。

セミナーカテゴリー

A・KA 投資信託運用
報告会

B・KB マネー

C・KC 住宅

N 年金

E・KE ライフプラン

F・KF 趣味・その他

福岡会場 場所：福岡銀行 本店ビル4階 セミナールーム

日付	予約コード	内容	時間	定員
3 (木)	B 46	わかりやすい！ 投資信託基礎講座 講師：三菱UFJ投信	11:00 ～ 12:30	80名
	A 75	投資信託運用報告会 『グローバル好配当株オープン』 講師：大和住銀投信投資顧問	14:00 ～ 15:30	80名
19 (土)	B 47	日本経済・新年度の見通し 講師：パークレイズ・キャピタル証券 チーフエコノミスト 森田 京平 氏	11:00 ～ 12:30	80名
	N 7	年金セミナー 年金の仕組み・在職年齢年金等について 講師：社会保険労務士	14:00 ～ 16:00	50名
25 (金)	F 40	センスアップ講座 ～ストール&スカーフ春編～ 講師：フィニッシングスクール インフィニ	11:00 ～ 12:30	80名
	A 76	投資信託運用報告会 『世界のサイフ』 講師：日興アセットマネジメント	14:00 ～ 15:30	80名
29 (火)	C 48	新生活スタート!! 模様替えのポイント 講師：福岡銀行 建築士	11:00 ～ 12:30	50名

日付	予約コード	内容	時間	定員
29 (火)	B 48	グローバル時代の投資戦略 講師：国際投信投資顧問	14:00 ～ 15:30	80名

既に対象商品を保有されている方を対象と致します。

福岡会場 場所：福岡銀行本店ビル4階セミナールームのご案内

[住所]〒810 8727 福岡市中央区天神2 13 1
福岡銀行本店ビル4階



北九州会場 場所：福銀小倉ビル5階セミナールームのご案内

[住所]〒802 0007 北九州市小倉北区船場町 2 1
福銀小倉ビル5階



北九州会場 場所：福銀小倉ビル5階 セミナールーム

日付	予約コード	内 容	時 間	定員
2 (水)	KA 29	投資信託運用報告会 『グローバル好配当株オープン』 講師：大和住銀投信投資顧問	11:00 ~ 12:30	50 名
	KB 34	わかりやすい！ 投資信託基礎講座 講師：三菱UFJ投信	14:00 ~ 15:30	50 名
18 (金)	KF 14	センスアップ講座 ～ストール&スカーフ春編～ 講師：フィニッシングスクール インフィニ	11:00 ~ 12:30	50 名
	KB 35	日本経済・新年度の見通し 講師：パークレイズ・キャピタル証券 チーフエコノミスト 森田 京平 氏	14:00 ~ 15:30	50 名
24 (木)	KC 35	新生活スタート!! 模様替えのポイント 講師：福岡銀行 建築士	11:00 ~ 12:30	30 名
	KA 30	投資信託運用報告会 『世界のサイフ』 講師：日興アセットマネジメント	14:00 ~ 15:30	50 名
26 (土)	KE 1	ライフプラン設計 ～将来のそなえを、今から考えて みませんか。～ 講師：東京海上日動火災 他	11:00 ~ 12:30	30 名
	N 8	年金セミナー 年金の仕組み・在職老齢年金等について 講師：社会保険労務士	14:00 ~ 16:00	50 名
30 (水)	KB 36	グローバル時代の投資戦略 講師：国際投信投資顧問	11:00 ~ 12:30	50 名
	KF 15	終活とエンディングノートの書き方 ～人生のエンディングを自分らしく～ 講師：飛鳥会館 代表取締役 古賀 匡郁 氏	14:00 ~ 15:30	50 名

既に対象商品を保有されている方を対象と致します。

セミナーの内容・スケジュール

資産運用・住宅・保険・年金などに関するものから、健康・美容など趣味に関するものまで様々なセミナーを開催します。詳しくは、福岡銀行のホームページにアクセスし、「セミナーイベント」よりご覧いただけます。

ふくぎん

検索

クリック

<http://www.fukuokabank.co.jp>

セミナーのお申し込み方法

■福岡銀行ホームページ

上記ホームページより、そのままお申込みいただけます。

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ

0120-559-655

受付時間/A.M.9:00～P.M.8:00(但し、銀行休業日は除きます。)

◎携帯・PHSからもご利用いただけます。

予約コードとテーマは上記ホームページよりご確認ください。

■セミナーの予定は、予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は福岡銀行のホームページをご覧ください。また、自然災害などによりセミナーの内容変更、中断または中止させていただくことがあります。

■駐車場については数に限りがございます。セミナーにお越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

マネーセミナー・生命保険セミナー・ 投信報告会ご案内にあたっての留意点

本案内に記載のセミナーでは、金融商品の勧誘を行うことがあります。

これらの金融商品へのご投資には、各商品等に所定の手数料等(投資信託の場合は、銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費、個人年金保険の場合は、契約初期費用のほか、保険関係費用・運用関係費用・年金管理費用等の諸経費、等)をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の「契約締結前交付書面」や「投資信託説明書(交付目論見書)」、「年金保険ご契約のしおり・約款」またはお客様向け資料等をよくお読みください。

[商号等]株式会社 福岡銀行(登録金融機関)

[登録番号]福岡財務支局長(登金)第7号

[加入協会]日本証券業協会

平成23年2月1日現在

FFG経営者クラブ インターネット 情報サービス

<http://www.ffgbc.com/>

FFGビジネスコンサルティング

会員の皆様の課題解決や販路拡大のニーズにお応えする
企業経営サポートサイトです。

ビジネスをバックアップする 強力な情報ツール

経営、実務ノウハウや各種経済指標・マーケットなど多岐にわたる経営情報をタイムリーにお届けします。
また、経営上の疑問・課題の解決に役立つ相談事例(FAQ)をご覧いただけます。

リアルなサービスをご案内

FFG経営者クラブ主催のセミナー・研修会・商談会などの各種サービスや、ぶくおかフィナンシャルグループ各銀行からのお知らせをいち早くご案内します。

チャンスを広げる 全国規模のビジネスマッチング

メガバンク及び全国の地方銀行の取引企業が参加する、全国規模でのビジネスマッチングの場をご提供し、ビジネスの拡大をサポートします。

日本最大級のビジネスマッチングのネットワークをご提供いたします。

加盟企業数
45,331社
企業情報登録数
7,002社
商談登録数
3,155社
平成22年3月30日現在



会員の皆様のご要望にお応えする6つの機能

利用料無料

※調査スクエアの「個別調査」は、調査会社に対し別途費用がかかります。

情報スクエア

質の高い情報を
すばやく入手

相談スクエア

ビジネスに関する
様々なご相談・
回答履歴の一覧を閲覧

調査スクエア

※
業界・市場などの
調査・情報収集

商談スクエア

ビジネスチャンスを
全国に広げる

交流スクエア

会員相互で
気軽に本音トーク

FFGスクエア

FFG経営者クラブ
からの最新ニュース

FFG経営者クラブインターネット情報サービスのご利用には「FFG経営者クラブ(年会費26,000円)」のご入会が必要です。

FFG経営者クラブの
お申込み・お問合せは

FFG経営者クラブ事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階
TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258

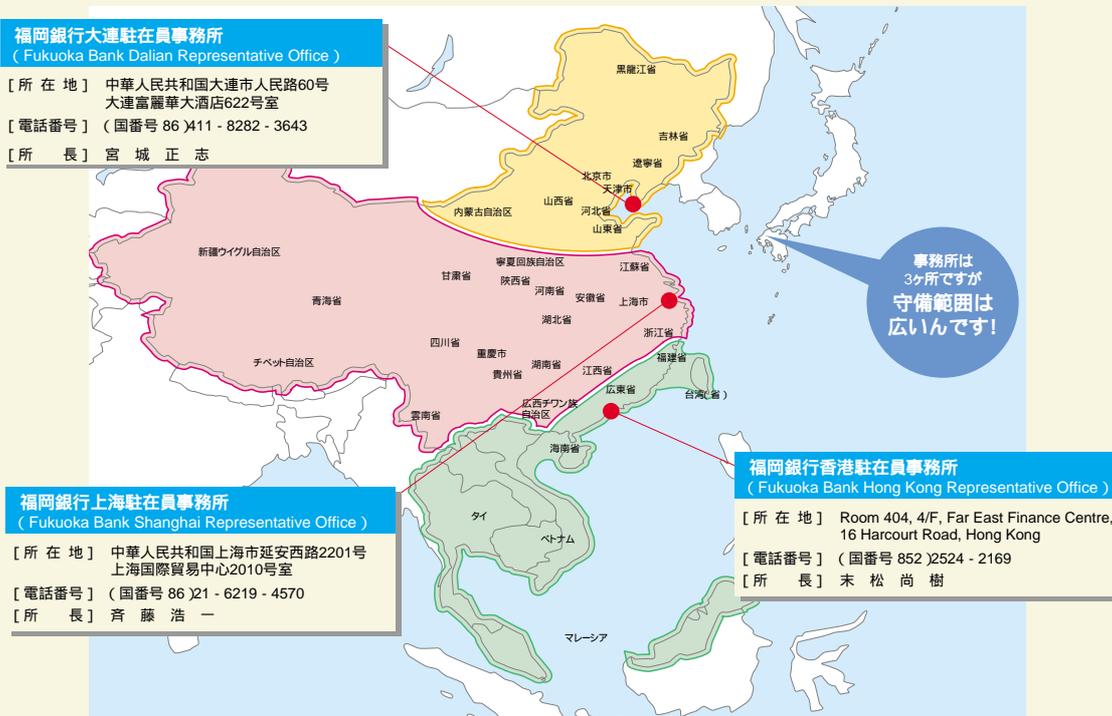
平成22年6月1日現在

海外拠点紹介

海外駐在員事務所の位置と担当範囲

海外拠点にて海外直接投資や、貿易に関する情報収集等を行っています。海外進出等ご検討のお客様、海外のことならお任せください！

海外拠点へのご用命・ご訪問は、取引店へお申し出ください。



FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。



いちばん身近な銀行

お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。

いちばん頼れる銀行

豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。

いちばん先を行く銀行

金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

 福岡銀行

 熊本ファミリー銀行

 親和銀行

人と人とのつながりがビジネスを広げる FFG経営者クラブ

ビジネスに直結する情報提供を通じて会員企業さまの発展をサポートいたします。

FFG経営者クラブのサービスがさらに充実!

メリット
1

ビジネスに即した様々な情報を入手!

■FFG経営者クラブインターネット情報サービスによる情報提供
経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な情報をタイムリーに提供します。



メリット
2

FFGのネットワークを利用した商談会・交流会!

■商談会・地区別交流会の開催
販路拡大に繋がる商談会や会員相互の交流、情報交換を目的に地区別交流会を開催いたします。



メリット
3

実務情報や経営ノウハウが直接聞ける!

■セミナー・研修会の開催
経営に関するテーマを中心に、経験豊富な講師陣による各種セミナー・研修会を開催いたします。



メリット
4

社員教育・研修で大活躍! 多様なテーマでバックアップ!

■社員教育用DVD・ビデオの無料貸出
新入社員、若手社員向けのビジネスマナーはもちろん、コンプライアンス経営、ISO取得など、経営全般に参考となるDVD・ビデオ(総数300タイトル以上)を無料でご利用いただけます。



メリット
5

交通至便な福岡天神の商談スペース!

■ビジネスマッチングフロアのご利用
福岡銀行本店ビル5F(福岡天神)のビジネスマッチングフロアを無料でご利用いただけます。



メリット
6

ビジネスに役立つ! 日常業務でも使える!

■FFG調査月報、小冊子、参考図書のご提供
ぶくおかフィナンシャルグループの経済情報誌や経営者クラブオリジナルハンドブックをお届けします。



ビジネスに役立つ様々なサービスをご利用いただけます。

年会費

26,000円

お申込み
お問合せは

FFG経営者クラブ事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング ビジネスコンサルティング部内
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階
TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258